

広報

くりやま

2023
4
VOL.1363



コロナと過ごした3年間
それでも「笑顔」で駆け抜けた

Pick Up

町政執行方針・教育行政執行方針 (6頁)

まちの予算 (20頁)

栗山学び隊 (32頁)

有馬 美緒 さん (北海道介護福祉学校)

特集

4月1日グランドオープン
栗山煉瓦創庫 くりふと

表紙

入学当初からコロナ禍での学校生活を過ごした栗山高校の卒業生。そんな中でも、たくさんの思い出と仲間に恵まれた3年間を過ごしました。



1_「由栗いも編」として行われたくりやマルシェ 2_ふるさと教育交流会でラジオパーソナリティー・深澤雅一さんが楽曲を披露 3_介護福祉学生による地域活動研究報告会 4_多目的ホールを利用する町民の皆さん 5_札幌市から出店しているカフェ「ブンナタッタ」 6_行列ができる人気ぶりを魅せた「おはぎのhanako」が出店 7_南側の壁はプロジェクターの投影に使用できる 8_ファブラボ栗山での体験で制作したキーホルダー 9_ハンドメイド作家によるものづくりワークショップ



くりふと来館者の声（アンケートより）／



おしゃれで居心地の良いスペースができた。気軽に飲み物を買うカフェや自動販売機があるといいですね。



館内は思っていたより暖かく、トイレがすごく綺麗でした。サンタリーボックスが無いので設置してほしいです。



ファブラボを初めて知りました。3Dプリンターや木工機械でものづくりは楽しそう！何か作ってみたいくなりました。



農産物を保管していたレンガ倉庫が、こんなふうになるとは驚き！スタッフの案内も大変親切でした。



栗山煉瓦創庫
くりふと

特集

4月1日グランドオープン —— 栗山駅南交流拠点施設

1月21日からのプレオープンでは、町民の皆さんへのお披露目や各種サービスの試行・検証により、来館者の反応やニーズの把握を行ってきました。皆さんからの期待と希望に応えるべく、得られた結果から改善・向上を図り、グランドオープンを迎えます。

交流と活動の拠点に

新通りの再生を含む「栗山町中心市街地都市再生整備計画」に基づく整備事業の一環として、既存のレンガ倉庫を活用して誕生した栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」は、町民をはじめ栗山町に関わる人たちが活動し交流するためのコミュニケーションスペースです。

1月21日のプレオープン以降、施設見学会やイベント開催をはじめ、くりふとキッチンでの飲食チャレンジ出店、展示ホールでのポップアップストア出展、ファブラボ栗山でのものづくり体験・活動など、施設で提供していく各種事業やサービスのテストを重ねてきましたが、いよいよ今月グランドオープンを迎え、本格的な運営を開始します。

プレオープン期間中、町内外から4000人を超える来館があり、多くの皆様からのお話やアンケート調査を通じて、施設に対するご感想ご意見をいただきました。

そこから見えた施設の課題点や改善点を反映しながら、

駅周辺の賑わいづくりのみならず、町内各所とも連携を図り、まち全体に広がる交流と活動の拠点となるよう運営を進めていきます。

今回は来月号の2回に分けて、プレオープン期間中における利用の様子や、施設の概要などについて紹介します。

施設では様々なサービスを提供しており、くりふとキッチンの飲食利用、ファブラボ栗山のものづくり体験・活動が人気となっていますが、日によってスケジュールが変動するため、詳細は施設のウェブサイトを電話でご確認ください（次ページ参照）。

日常的には、午前9時から午後10時まで多目的ホールやトイレを開放し、無料でWiFiや充電用コンセントも利用できますので、休憩や飲談のみならず、仕事、学習など、来館者ご自身の新たな活動場所としてご利用ください。

総合案内には専任スタッフが常動していますので、施設利用や町内情報などについて、お気軽にご相談ください。町民皆様のご来館をスタッフ一同、お待ちしております。

町ブランド推進課
三木 貴光 主幹

初めていらっしゃった来館者から「ここは何ができる場所なのか、よくわからない」という声を多くいただきます。

複合的な機能があり、うまく伝えられていないことに力不足も感じますが、声がある分、皆さんからの期待や可能性が大きいことも同時に感じます。

施設はまだまだ発展途上です。今は参加側にいる方々が自身の場所として利用を重ね、イベントの主催、作品や商品の展示・販売など、意識を持って活動する方をまちに増やしていくことが、本施設の役割です。

その方々の影響により、さらに活動・活躍する人たちが広がることによって、栗山町の次代につながる展開を望んでいます。

メディアブース

地域情報を発信するコミュニティ放送局（地域 FM）の専用スタジオ。有事には災害・避難状況などの情報発信を行う臨時災害放送局としても稼働。開局に向けて現在準備中です。

令和6年3月
ラジオ開局予定！

ラジオパーソナリティー
深澤 雅一さん

バリアフリー対応の
多機能トイレ



くりふとキッチン

本格的な厨房器具を備え、飲食営業や試作・加工など飲食ビジネスへのチャレンジを支援するシェアキッチンとして利用できます。なお、使用にあたっては食品衛生責任者資格の取得などの一定条件を満たす必要があります。



新しい施設で良い環境での出店できています。甘さ控えめのおはぎを提供しており、お客様からは喜びの声を多くいただきとても嬉しいです。

おはぎの hanako（町内在住）
渡辺健太郎さん・千佳子さん

展示ホール

自身の作品や商品の展示・販売による出展（ポップアップストア）、ワークショップ開催などに利用できます。備え付けの展示棚も使用できます。



自分たちの生産した美味しいサツマイモを食べて貰いたいと思い出店しました。今後もマルシェなどのイベントで参加できればと思っています。



そらち南さつまいもクラブの皆さん

3D プリンターなどのデジタル工作機械・工具類、コンピューター機器を配備し、専属インストラクターによるものづくり活動を行えます。レベルに応じて、見学会、オープンラボ、安全操作講習、工作設備貸出などのサービスがありますが、初心者には無料で参加できる見学会やオープンラボからご参加をお勧めしています。

ファブラボ栗山
ホームページ▶



ファブラボ栗山



多目的ホール



カウンター席

WiFi 完備！
充電も OK

多目的ホール



休憩や飲食利用のほか、Wi-Fi 接続可能で充電用コンセントもあるので仕事や学習など利用（ワーキング利用）ができます。また、専用使用により交流活動やイベント開催にも利用できます。



何度もホールを利用していますが、無料で Wi-Fi やコンセントを使えるのはありがたいです。22時まで開いているので、学生たちも助かると思います。



荻野 隼一さん（町内在住）

くりふと information

【開館日時】

9:00 ~ 22:00

※休館日は月曜日（祝日の場合は火曜日）、年末年始です。

※ファブラボ栗山のサービス利用は下記の通りです。

平日 = 14:00 ~ 21:00 土日祝 = 9:30 ~ 16:30

【問い合わせ】

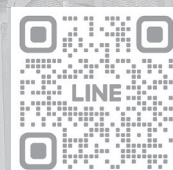
栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫 くりふと」（中央3）

☎ 76-9945 FAX 76-9946 ホームページ = <https://kurift.jp>

イベント・出店情報など
最新情報はこちら



特設ホームページ



公式 LINE

多目的・展示ホールの使用

事前申請により、専用使用できます。プロジェクター、ホワイトボード、ワイヤレス音響機器、延長コードなどの備品を無料で貸し出します。

くりふとキッチンの使用

事前申請により、専用使用できます。一定条件が必要なほか、ルールなど事前説明・相談を行っておりますので、まずはお問い合わせください。

ファブラボ栗山の利用

実施日は毎月変動するため、事前にウェブサイトまたはお電話でご確認ください。お申し込みは前月25日より受け付けしています。

※予約状況や手続き、使用料などについては、左記のウェブサイトまたはお電話にてお問い合わせください。
※全館貸切、屋外敷地内の使用についてはご相談ください。
※共用スペースのため、お互いの動線確保にご協力をお願いします。



地域社会のデジタル化

デジタル技術を活用し、行政サービスや手続きなどの利便性を向上させる「自治体 DX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進



栗山赤十字病院の改築

令和5年から2年間の改築工事を行い、新たに開院する予定の赤十字病院

令和5年度

栗山町

2023
Kuriyama Town

町政執行方針

これまで3年間にわたり、幾度となく繰り返し返された新型コロナウイルス感染症との闘いに町民の皆さんとともに立ち向かい、乗り越えてまいりましたが、感染者数も減少に転じた今、コロナ禍からの社会の正常化に向けた様々な活動が動き出してきております。

一方で、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化に伴い、エネルギーや原材料、食料品等の物価高騰など、先行きが見通せない状況の中、町民生活や経済活動へのさらなる影響が危惧されております。

依然として厳しい社会経済環境に直面しておりますが、町民の皆さんの安全・安心な暮らしを支えるため、引き続き必要な対策に粘り強く取り組むとともに、今後におきま

しても、様々なリスクなどへの対応に万全を期してまいりたい決意です。

さて、私が、町民の皆さんのご支援を賜り、2期目の町政をお預かりして、早1年が経過しようとしております。

5年前の町長就任から、現在に至るまでの間、一貫して、ふるさと栗山の確かな未来に向けた基盤づくりを進めるとともに、栗山赤十字病院の改築をはじめ、中心市街地の活性化対策、栗山高等学校の存続と介護福祉学校の経営改善など、先送りのできない町政課題の解決に向けた取組を、着実に進めてきたところで

こうした中、加速化する人口減少や少子高齢化への対応、さらには、地域社会のデジタル化や地球規模の課題である脱炭素化といった社会変革の

動きなど、次代の潮流を捉えた新たな対応も求められております。

令和5年度は、町民の皆さんとともに創り上げた、まちの最上位計画「栗山町第7次総合計画」のスタートの年であり、まさに、ポストコロナを見据えた新たなまちづくりの起点となる、重要な1年であると考えております。芽吹き始めた様々な動きを大切に育てながら、町民の皆さんとともに考え、創る、元気が満ち溢れる栗山新時代を実現します。

新年度の町政執行に当たり、「5つの基本目標」を掲げ、ふるさと栗山の未来に向け、新たな一歩を踏み出します。

1 「活力あふれるまち」の推進

持続可能で足腰の強い地域経済を確立するためには、農工商各産業の基盤強化や地域の特性を活かした産業の創出など、経済の裾野を広げ、好循環させていく環境づくりが必要です。

その重点施策として、多様な担い手の育成や農業基盤整備の促進、商店街の活性化など中心市街地の賑わいの創出、企業誘致による雇用機会の確保、栗山駅南交流拠点施設を核とした新たな関係人口の創出などに取り組みます。

豊富な地域資源の可能性を引き出し、着実に成長を続けていく「活力あふれるまち」を築きます。

2 「安らぎ満ちたまち」の推進

すべての町民が生きがいと幸せを実感できる生活を送るためには、健康意識の高揚や地域に必要な医療供給体制の維持、地域包括ケアシステムの充実など、地域が一体となつて支え合う環境づくりが必要です。

3 「夢ふくらむまち」の推進

その重点施策として、新型コロナウイルス感染症対策や健康寿命延伸のまちづくりの推進、栗山赤十字病院の改築など医療供給体制の構築、ケアラー支援の充実、地域社会のデジタル化の推進などに取り組みます。誰もが健幸で、心身ともに健やかに暮らすことができる「安らぎ満ちたまち」を築きます。

次代を担う子どもたちが、ふるさとに夢と希望を持ち、元気に成長していくためには、安心して子どもを産み育てられる、栗山らしさを活かした子育て・教育環境づくりが必要です。

その重点施策として、子育て家庭の負担軽減をはじめとした総合的な子育て支援、ふるさとキャリア教育など栗山ならではの教育活動の推進、栗山高等学校の魅力づくりや介護福祉学校との連携による教育モデルの構築などに取り組みます。

全力で子育て世代をサポートし、子どもたち自らが成長を実感できる「夢ふくらむま

ち」を築きます。

4 「魅力広がるまち」の推進

ふるさとの豊かな自然環境や歴史・文化など、まちの魅力やかけがえのない財産を次代に継承していくためには、その価値を見つめ直し、磨き高めていく必要があります。

その重点施策として、ハサベツ里山など自然環境の保全・再生、若者・子育て世代の移住・定住の促進、文化財や伝統文化の保護・活用、カーボンニュートラルの実現に向けた全町的な温暖化対策の推進などに取り組みます。

積み重ねられてきた歴史や多彩な魅力を守り育てながら、未来へとつないでいく「魅力広がるまち」を築きます。

5 「共に歩むまち」の推進

人口減少や少子高齢化など、直面する様々な地域課題に対応していくためには、町民と行政とのさらなる連携・協働など、地域力を活かしたまちづくりが必要です。

その重点施策として、新たな情報発信拠点となるコミュ

「ふるさとは栗山です。」 みんなが元気なまち



令和4年栗山町議会3月定例会議で佐々木学町長が町政執行方針を示しました。
第8代町長として2期目を迎え、先人が築いた「ふるさと栗山」の未来を展望し、「みんなが元気なまち」の実現に向け、町政執行に臨む決意を述べました。

ニティ放送局の整備、自主防災組織の設置支援など地域防災力の強化、南空知圏域など広域連携による地域づくりの推進、女性活躍や男女共同参画の推進などに取り組みます。
一人ひとりの想いがまちの絆となり、心ひとつに未来を創造していく「共に歩むまち」を築きます。

心豊かに暮らせるふるさとづくり

循環型社会の形成に向けて、ごみの減量化や再資源化、再生可能エネルギーの活用など、環境負荷を低減する取組を推進します。

また、町民の安全・安心な暮らしを守るため、地域防災力の強化を図るとともに、交通安全対策や防犯活動を推進します。

◇ごみ処理

町民との協働による適正なごみ分別や再資源化を図ります。



栗山町学生寮

栗山高校生徒、介護福祉学生が使用する学生寮。入寮者増などに伴い、順次改修を予定している



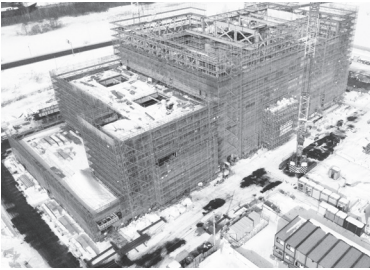
リーダー研修

年に4～5回程度、町青少年育成会が運営し、宿泊や自然体験などの活動を通して地域のリーダーとしての資質を育む研修



栗山町総合防災訓練

災害に対する意識向上を図るため、消防署や自衛隊などの協力のもと、年に1回、避難訓練や各種講習などを行う防災訓練



道央廃棄物処理組合

栗山町を含めた近隣2市4町でのごみの焼却施設（千歳市）供用開始に伴い、従来の分別方法の一部変更を令和6年4月に予定している

また、道央廃棄物処理組合による広域焼却処理施設の令和6年4月供用開始に向け、構成市町と連携し円滑に事業を推進するとともに、新たにごみの分別方法について周知徹底を図ります。

◎今年の約束

- ▼ごみ分別の徹底、再資源化を推進します。
- ▼広域焼却処理施設整備を推進します。
- ▼リサイクルセンター整備方針を策定します。

◇環境・エネルギー

太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入支援を継続するとともに「栗山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、カーボンニュートラル実現に向けた全町的な温室効果ガス排出抑制の取組を推進します。

◎今年の約束

- ▼再生可能エネルギーを導入する町内事業者を支援します。
- ▼住宅用太陽光発電システム設置費の助成を拡大します。

◇防災

自主防災組織の設置や避難

行動要支援者個別計画の策定を進めるとともに、地域や建設協会をはじめ関係機関・団体と連携し、全町的な防災体制の強化を図ります。

また、災害用物資の計画的な確保を図るとともに、災害時における情報伝達手段を充実します。

◎今年の約束

- ▼建設協会など関係機関・団体と連携した防災訓練を行います。
- ▼自主防災組織などによる地域防災活動を推進します。
- ▼避難行動要支援者個別計画の策定を進めます。
- ▼コミュニケーションの活用など災害時の情報伝達手段を充実します。

◇消防・救急

町民の安全・安心の確保を最優先に、各種災害発生時に迅速かつ的確に対応できる設備の充実や体制の強化を図ります。

また、広報活動や火災予防査察、避難訓練などを通じて、防火意識の高揚を図るとともに、救急講習会の充実に努め、さらなる救命率の向上を目指します。

◎今年の約束

- ▼火災予防の徹底を図ります。
- ▼高規格救急自動車を更新します。
- ▼第3分団第2部（南学田）の消防自動車を更新します。

◇生活安全

交通安全協会をはじめ関係機関・団体と連携し、飲酒運転の根絶や高齢者の交通事故防止、通学時の安全確保などに向けた交通安全運動や施設整備を進めます。

また、防犯協会や暴力追放運動推進協議会をはじめ関係機関・団体と連携し、防犯カメラの設置や各種巡回等による犯罪抑止の取組を推進します。

さらに、SNSなどを使った巧妙化する悪質商法や特殊詐欺被害の未然防止に向け、消費者協会をはじめ関係機関・団体と連携し、相談窓口や情報発信の充実を図ります。

墓園・墓地については、快適な墓参環境づくりを推進するとともに、合葬墓の整備に向けた調査・検討を進めます。

◎今年の約束

- ▼高齢者の運転免許証自主返納支援を行います。

交通安全施設を整備します。

▼防犯カメラを栗山市街地に設置します。

▼南空知4町の広域消費生活相談を行います。

▼墓園・墓地の環境美化を推進します。

▼合葬墓の整備に向けた調査・検討を進めます。

豊かな緑に囲まれた自然、積み重ねられたまちの歴史・文化の良さを活かしながら、夢と志をもって、未来を切り拓いていく力を備える子どもたちを育むため、地域総ぐるみ・総がかりの栗山らしい教育環境づくりを進めます。

◇学校教育

学習指導要領の目指す方向性を踏まえ、子どもたちが人間性豊かに成長することを目指す教育を推進するとともに、学校・家庭・地域・関係機関の連携・協働による開かれた教育課程の充実を図ります。

また、就学前から小・中学校への円滑な接続を図るため、幼保小中一貫教育連携プログラムを推進するとともに、中

◇スポーツ

スポーツ協会をはじめ関係団体と連携し、誰もが気軽にスポーツに取り組める機会の提供を図るとともに、体育施設の計画的な整備など、生涯スポーツの環境づくりを推進します。

また、「第2回くりやまハーフマラソン」を開催し、町民の健康増進とまちの賑わいを創出します。

◎今年の約束

- ▼第2回くりやまハーフマラソンを開催します。
- ▼スポーツセンターアリーナ床の塗装を行います。
- ▼公園球場外野フェンスの一部改修を行います。
- ▼町民プール上屋シートの交換を行います。

◇芸術・文化

歴史的建造物や貴重な文化財の保護・活用に取り組むとともに、地域の特色を捉えた新たな文化財の発掘・指定について検討します。

また、文化連盟をはじめ関係団体等と連携し、町民が芸術・文化に親しむ環境づくりを進めるとともに、文化振興基金を活用し、伝統文化・郷

土芸能の継承や町民の自主的な文化活動、芸術家の活動などを支援します。

◎今年の約束

- ▼歴史的建造物等保存継承事業による支援を行います。
- ▼ふるさとの史跡を巡る地域伝統文化の普及活動を行います。
- ▼文化振興基金を活用し、伝統文化・郷土芸能の継承や文化活動などを支援します。
- ▼札幌ひなまつりコンサートなど音楽・芸術文化鑑賞事業を支援します。

◇国際・地域間交流

姉妹都市角田市への青少年派遣事業など、歴史や文化を学ぶ機会を提供するとともに、海外派遣事業「少年ジェット希望の翼」や英語コミュニケーションスキル研修など、次代を担う子どもたちの豊かな感性や国際感覚を育む取組を推進します。

◎今年の約束

- ▼姉妹都市との子ども交流事業及び勤労青年研修事業を行います。
- ▼少年ジェット希望の翼事業を行います。
- ▼英語コミュニケーションス

キル研修を行います。

+

健康で生きがいを感じるふるさとづくり

すべての町民が心身ともに健やかに、生きがいを持って暮らすことができるよう、医療・保健・福祉・介護サービスの一層の充実を図るとともに、子育て環境のさらなる充実と、子どもたちが将来へ夢・希望を持って成長できるまちづくりを進めます。

保健については、「第2期栗山町健康増進計画」を策定するとともに、特定健診及びがん検診の受診率向上や、生活習慣病や重症化の予防対策を推進します。

また、新型コロナウイルス感染症への不安解消及び感染症対策を引き続き講じます。

さらに、「健康寿命延伸のまちづくり宣言」に基づき、町民や地域・関係団体・企業と協働し、町全体で健康づくりを支えるための環境づくりに取り組みます。

◎今年の約束

- ▼第2期栗山町健康増進計画を策定します。
- ▼保健指導の充実を図ります。
- ▼施設従事者等への検査費助

成など新型コロナウイルス感染症対策を推進します。

▼くりやま健康マイレージ事業を推進します。

▼健康寿命延伸の取組を推進します。

◇地域医療

栗山赤十字病院と連携し、病院の改築事業を推進するとともに、町民が安心して医療を受けられるよう、持続可能な医療供給体制の構築に向けた協議を進めます。

また、地域に必要な医療水準の維持を図るため、救急医療体制及び地域医療機能の確保に係る栗山赤十字病院への支援を引き続き行います。

さらに、町内医療機関と連携し、オンライン診療導入に向けた取組を進めます。

◎今年の約束

- ▼栗山赤十字病院の改築事業を推進します。
- ▼医療供給体制の構築に向けた協議を進めます。
- ▼救急医療体制及び地域医療機能の確保に係る栗山赤十字病院への支援を行います。
- ▼オンライン診療導入に向けた取組を進めます。

◇児童福祉

「第2期栗山町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て世代包括支援センターを核として、妊娠から出産・子育て期までの総合的な支援を推進します。

また、高校3年生までの医療費助成を町外通院まで拡大するなど、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。

さらに、子ども発達サポートセンターを拠点として、心身に障がいや発達に遅れがある子どもの早期発見や早期療育への取組を進めます。

◎今年の約束

- ▼子ども医療費の助成を拡大します。
- ▼新生児世帯に子育て応援券を配付します。
- ▼ファミリー・サポート・センターを活用した産前・産後育児サポート事業を行います。
- ▼支援が必要な家庭やヤングケアラーへの適切な支援を行います。
- ▼育児応援企業奨励金制度創設に向けた検討を行います。
- ▼子ども・子育て政策に係る庁内組織体制の見直し及び条例制定に向けた検討を行

います。

▼障がい児の通所費用等を助成します。

◇高齢者福祉

「第9期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者が地域で自分らしい暮らしができるよう、一人ひとりに寄り添いながらきめ細かなサービスを提供するとともに、地域の特性を活かした地域包括ケアシステムの深化を図ります。

また、町内における介護人材の育成・確保に向けた支援を推進します。

◎今年の約束

- ▼第9期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定します。
- ▼介護予防教室の充実を図ります。
- ▼配食サービス事業及び除雪サービス事業を行います。
- ▼介護人材養成研修や介護人材確保に係る支援を行います。

◇地域福祉

地域や民生委員・児童委員、社会福祉協議会など関係機関・団体と連携し、高齢者や障が

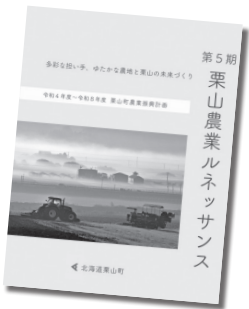
まちなかカフェ

町社会福祉協議会のサポートのもと、角田や継立などの各地区で交流の場としてさまざまな催しや教室が行われている



第5期 栗山農業ルネッサンス

栗山農業の基本的な指針としての役割を担う農業振興計画。5年を行っている。



い者の居場所づくりや積極的な社会参加を図るとともに、社会全体で高齢者などを見守る体制を構築します。

また、「栗山町ケアラー支援推進計画」の見直しを行い、すべてのケアラーが、安心して介護や看護ができる地域づくりを推進します。

◎今年の約束

- ▼相談・支援体制の充実を図ります。
- ▼見守り・安心ネットワーク事業を推進します。
- ▼まちなかカフェなどの運営を支援します。
- ▼ケアラーお出かけ安心サービス事業を行います。

◇障がい者福祉

「第6次栗山町障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」を策定するとともに、障がいのある方が安心と生きがいを持って暮らすことができるよう、相談体制及びサービスの充実を図ります。

また、栗山町ふるさと福祉基金を活用し、障がい者の地域生活及び就労環境の充実を図ります。

◎今年の約束

- ▼第6次栗山町障がい者基本

活力と賑わいあふれるふるさとづくり

地域経済の原動力である農工商の基盤を強化し、各産業の担い手の育成や雇用機会の確保を図るとともに、観光・交流産業の活性化による賑わいと関係人口の創出など、経済の成長が好循環するまちづくりを進めます。

◇農林業

栗山町農業振興計画「第5期栗山農業ルネッサンス」に基づき、地域を担う多彩な人材の育成・確保や農業基盤の整備、省力化とコスト低減を目指すスマート農業の推進など、関係機関・団体や町農業振興公社と連携し、持続可能で生産性の高い農業を確立します。

また、農村としての魅力を創造・発信し、人材・資源の積極的な活用により農の関係

人口の創出を図ります。

さらに、「栗山町森林整備計画」に基づき、南空知森林組合をはじめ関係機関・団体と連携し、森林環境譲与税を活用した森林保全と計画的な森林整備を進めるとともに、森林空間の新たな活用を推進します。

◎今年の約束

- ▼後継者や新規就農者など、農業の担い手を育成します。
- ▼ICT先端技術の導入による省力化などの取組を支援します。
- ▼農地中間保有事業などによる農地流動化を促進します。
- ▼栗山町土地改良センターを開設し、農業生産基盤整備事業を促進します。
- ▼畑地帯総合整備事業の実施に向けた調査を進めます。
- ▼栗山町農業経営支援基金を創設します。
- ▼農的関係人口の創出を促進します。
- ▼計画的な町有林管理と民有林の整備を支援します。
- ▼森林空間の新たな活用を推進します。

◇商工業

商工会議所や関係機関・団

体と連携し、「第2期商店街活性化アクションプラン」に基づき、賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。

また、新たに第5期工業団地を造成するとともに、トッパセールスによる積極的な企業誘致活動を展開し、雇用機会の確保を図ります。

◎今年の約束

- ▼空き店舗・空き地の活用を支援します。
- ▼商店街地域カードの電子化を支援します。
- ▼第5期工業団地を新規造成します。
- ▼積極的な企業誘致活動を展開します。

◇観光・交流

関係機関・団体と連携し、新たな観光推進体制の構築を進めるとともに、「栗山町観光振興計画」に基づく取組を推進し、栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」を拠点に、関係人口の創出とまちの賑わいづくりを進めます。

さらに、UIJターンなどへの支援やクリエイターの誘致など、移住・定住促進の取組を強化します。

◎**今年の約束**

▼新たな観光推進体制の構築を進めます。

▼栗山町観光振興計画に基づく取組を推進し、関係人口の創出とまちの賑わいづくりを進めます。

▼UIターン新規就業支援を行います。

▼UIターン等促進奨学金返済助成を行います。

▼クリエイター移住支援事業を行います。

◇**雇用環境**

ハローワークをはじめ関係機関・団体と連携し、就業希望者への適切な情報提供など、雇用の促進を図ります。

また、従業者のスキルアップにつながる資格取得支援制度創設に向けた検討を進めます。

さらに、南空知通年雇用促進協議会と連携し、季節労働者の資格取得支援などにより、通年雇用化を図ります。

◎**今年の約束**

▼従業者の資格取得支援制度創設に向けた検討を行います。

▼季節労働者の資格取得を支援します。

▼雨煙別川かわまちづくり計画を推進します。

◇**街なみ・景観**

旧継立中学校施設の活用など南部地域の振興や、スキー場跡地を含めた御大師山周辺整備の検討など、魅力ある市街地整備を推進します。

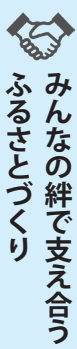
また、「栗山町公園施設長寿命化計画」に基づき、栗山公園施設等の更新を進めます。

◎**今年の約束**

▼日出生生活館の改築に向けた地元との協議を進めます。

▼御大師山周辺整備の検討を進めます。

▼栗山公園施設等を更新します。

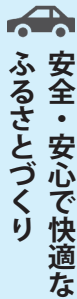


みんなの絆で支え合う
ふるさとづくり

社会環境の変化や社会の成熟化に対応する、柔軟かつ安定した自治体経営を進めるとともに、町民と行政が共に考え、創り出す、持続可能なまちづくりを展開します。

◇**コミュニティ活動**

まちづくり協議会をはじめとした町民主体の地域活動への支援など、活力ある地域づくりを推進します。



安全・安心で快適な
ふるさとづくり

誰もが住みやすいまちづくりを推進するため、安全・安心な都市基盤の整備と居住環境の向上を図るとともに、魅力的で賑わいのある街なみ・景観づくりを進めます。

◇**道路・交通**

快適で安全な道路環境を維持するため、道路改良や橋梁補修など計画的な道路網の整備を進めるとともに、冬期間における道路交通網を確保するため、迅速かつ効率的な除排雪事業を進めます。

また、国・道が管理する道路の整備促進について、官民一体となり関係機関へ強く要請します。

さらに、地域公共交通については、沿線自治体や関係機関等と連携し、民間バス路線やJR室蘭線の維持を図るとともに、町営バスの利便性向上と運行の効率化に向けた検討など、持続可能な交通ネットワーク体系を構築します。

◎**今年の約束**

▼杵臼本線の道路改良を行います。

また、町内連合会などと協議を行い、住民自治の基盤強化や活性化に向けた取組への支援制度を構築します。

◎**今年の約束**

▼まちづくり協議会などの地域活動を支援します。

▼まちの魅力アップ応援事業を促進します。

▼町内会区域再編支援制度を構築します。

◇**行政経営**

多様な地域課題等に対応する、安定的かつ効果的な行政財政基盤を構築するとともに、地域社会のデジタル化の推進を図ります。

また、町税等の適正な収納対策を推進するとともに、企業誘致活動と連携した企業版ふるさと納税などにより、自主財源の確保を図ります。

さらに、南空知圏域や北海道ボールパークなど、広域連携による地域づくりを積極的に推進します。

◎**今年の約束**

▼栗山町DX推進計画の策定など、地域活性化起業人制度等を活用しデジタル化を推進します。

▼ふるさと納税制度の取組を強化します。

▼旭台第2支線の排水整備を行います。

▼南通り橋を補修します。

▼町道街路灯のLED化を行います。

▼除排雪事業あり方検討会議を設置します。

▼除雪グレーダーを更新します。

▼国道234号整備促進期成会による要望活動を行います。

▼新町通街路及び夕張長沼線等の整備促進を要望します。

▼地域公共交通計画を策定します。

▼町営バス・コミュニティバスの運行見直しを進めます。

◇**住宅・住環境**

「栗山町住生活基本計画」及び「栗山町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の建替を進めるとともに、新たな住宅団地の造成など良質で低廉な住環境を形成します。

また、管理不全な空き家の発生抑制や解体等を支援し、安全・安心な生活環境の確保を図ります。

さらに、若者・子育て世代の移住者への住宅取得支援を継続するとともに、空き家の相談窓口の強化や活用支援



など、定住しやすい環境づくりを推進します。

◎**今年の約束**

▼中里住宅団地を造成します。

▼継立団地を移転し建て替えます。

▼栗山町住生活基本計画を改定します。

▼若者・子育て世代の移住者への住宅取得支援を行います。

▼空き家相談窓口体制の強化を図ります。

▼危険な特定空家等の対策に取り組みます。

▼人にやさしい住宅助成事業を行います。

◇**上・下水道**

「栗山町水道ビジョン」及び「アセットマネジメント（資産管理）」に基づき、老朽化した水道管や水道施設の計画的な更新を進め、良質で安全な水道水を安定的に供給します。

また、「栗山町下水道事業経営戦略」の改定など、中長期的な視点に立った事業経営の安定化を図ります。

さらに、個別排水処理施設事業を推進し、生活排水処理環境の更なる改善を図ります。

◎**今年の約束**

▼老朽水道管等を計画的に更新します。

▼下水道施設の機器を更新します。

▼栗山町下水道事業経営戦略を改定します。

▼個別排水処理施設の新規設置を推進します。

◇**河川**

全国で相次ぐ河川氾濫を踏まえ、堆積土砂等の撤去など緊急浚渫推進事業による河川の適正な維持管理を行います。

また、道と連携し、水辺空間の質の向上を図る「雨煙別川かわまちづくり計画」を推進します。

さらに、国・道が管理する河川の治水対策や、魚類などが遡上しやすい川づくりの推進に向け、引き続き、関係機関に要請します。

◎**今年の約束**

▼トキト川を浚渫します。

一人ひとりの力には限りがありますが、想いを一つにし、力を合わせることで、どんな困難でも乗り越えられるものと確信しています。

「ふるさととは栗山です。」

～みんなが元気なまち～

この言葉に込められた町民皆さんのふるさとへの熱い想いを胸に、「産業」「社会」「子どもたち」「人」「地域」、みんなの絆で元気あふれるまちを実現します。

新たなまちづくりがスタートする新年度を、町民とともに創出する栗山新時代の「進展の時」と位置付け、持てる力の限りを尽くしてまいり決意です。

町民の皆さん、議員の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、令和5年度の町政執行方針といたします。



先を見通すことが難しい時代にあって、大切なことは、今の時代を生きる私たちが、未来への確かな展望を持ち、直面する危機を乗り越え、しっかりと次の時代につなげるまちづくりを進めていくことです。

多くの難題を抱えている今だからこそ、果敢に挑戦を続けていかなければなりません。



ふるさと給食

町内の学校給食では栗山町産の食材をふんだんに使った給食の提供を定期的に行っている。



歩けあるけ運動

町内の景観や施設を見回りながら、毎年さまざまなコースを歩いて健康増進を図る体育事業

2023 Kuriyama Town 令和5年度 教育行政執行方針

令和4年栗山町議会3月定例会議で、吉田政和教育長が教育行政執行方針を示しましたので、その内容をお知らせします。



令和4年栗山町議会定例会3月定例会議の開会に当たり、教育行政執行方針について申し上げます。議員の皆さんをはじめ、町民の皆さんのご理解とご協力をいただきたいと存じます。

教育は、普遍的かつ個性的な文化の創造と豊かな社会の実現を目指し、心身ともに健康で文化的な資質をもち、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として自主的精神に満ちた健全な人間の育成と、我が国の歴史と文化を尊重し国際社会に生きる日本人、栗山町民を育むことを期して行わなければならないません。

同時に社会の変化に対応し、絶えずその在り方を見直していかねばならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題及び少子高齢化の進展など、時代の変化や知識基盤社会に主体的に対応し、日本の未来を担う人材を育成することが重要になってまいります。

教育委員会といたしましては、このような考え方に立ち、幼児・児童・生徒が知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、「互

いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間」、「地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間」、「自ら学び・考え・行動する個性と創造性豊かな人間」の育成を教育目標に掲げ、積極的に教育行政を推進します。

また、豊かな自然環境の中で、子どもたちが生涯にわたって主体的に文化・スポーツに親しむことができる人間として成長するよう、関係機関・団体等との一層の連携を図ります。

さらに、教育は、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立つて、すべての町民が教育に参加することを目指します。

以下、これら教育目標の達成に向けた具体的な推進方策に関わり、3分野の重点方針を申し上げます。

学校教育

教育政策の根幹として位置付けられている学習指導要領に基づき、特に重視することを7点を申し上げます。

さらに、「栗山町健康増進計画」の趣旨を踏まえ、がんの仕組みや予防・歯と口腔の衛生に関する正しい知識と生活習慣の習得を図るなど、健康教育の推進を図ります。

一人ひとりを大切に する教育の推進

すべての子どもが社会環境の変化に適切に対応し、より良い人生を生き抜くため、必要となる基礎的な力を育み、個性や能力に応じた最適な学びを支援していくとともに、教育の専門性や指導力を高めるため、個別指導計画等に基づき、特別支援学級・特別支援教室における指導や就学相談の充実により、一人ひとりの能力を最大限に伸ばす特別支援教育を推進し、交流及び共同学習等を通し、子どもたちが障がいの有無に関わらず、相互に活動する機会の実現を図ります。

また、学校・家庭・地域・関係機関等が連携し、問題行動の課題に迅速に対応するとともに、誰もが助け合い、認め合える温かい学校づくりを推進し、

人権教育と豊かな心を 育む教育の推進

「いじめ防止対策推進法」及び「北海道いじめ防止基本方針」の制定趣旨を踏まえ（仮称）栗山町いじめの防止等に関する条例」を制定し、いじめの根絶に向けて保護者・地域・関係機関と協力し、お互いに認め合い、共に学び合える学校づくりを推進するとともに、人権尊重の理念を広く定着させ、あらゆる偏見や差別意識の解消を目指し、人権教育の充実を図ります。

また、豊かな体験活動を通して、子どもたちが生命を大切にする心、他人を思いやる心、規範意識を育む教育を行い、発達段階に応じて学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図るとともに、校外学習や移動教室などによる体験学習や集団活動の実践を重ね、他者との交流や協働することの重要性を実感できる、豊かな心を育む教育の充実を図ります。

さらに、地域の施設や環境を活用し、歴史・伝統・文化、芸術等について理解を深め、郷土を愛し、誇りに思う心を育む教育を推進するとともに、身の回

困難な課題を抱える児童・生徒に対する様々な支援、日常的な対話や観察、心理検査の実施と分析及びケア体制の充実を図り、子ども一人ひとりの悩みや状況を把握し、関係機関との緊密な協力のもと、児童・生徒が相談しやすい環境の整備、相談窓口の周知及び取組の徹底を図ります。

さらに、就学前から義務教育修了までの発達段階を円滑につなぐ各種プログラム等の活用や異校種の交流を通して幼・保・小・中の連携した教育を充実させ、子どもの発達や学びの連続性を高めてまいります。

安全・安心な学校づくり と教育環境の充実

子ども自らが自然災害や交通事故、犯罪等の様々な危機を予測し、回避することができるようを高める教育を推進するとともに、地域と連携した防災訓練等の拡充と組織的な体制を整備し、防災教育の充実を図ります。

また、「学校給食における食物アレルギー対応指針」等を参考に、アレルギー対策や事故予防、事故発生時の適切な緊急対応の徹底を図るため、組織的

りの諸課題を解決する力を育成し、SDGsの理念に基づき、保護者や地域等と連携して、持続可能な社会の担い手に必要な資質・能力の向上を図ります。

確かな学力の定着と豊かな 個性を伸長する教育の推進

次代の担い手となる子どもたちの知識・技能の習得、思考力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性の涵養など、時代の変化に対応できる資質・能力を育成します。そのため主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に努め、学習状況に関する調査や授業改善推進プランを活用した「社会に開かれた教育課程」を編成するとともに、図書館との連携を図り、学校図書館を学習情報センターとして機能させ、読書活動の効果的推進や調べ学習、発表活動を通して主体的に学習する態度を育成し、きめ細かな指導による基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります。

また、子どもの特性や成長段階を踏まえ、個に応じた教育を展開し、豊かな個性や創造性の育成を図るとともに、ボラン

な体制づくりに取り組みます。さらに、教育環境の向上や防災機能の充実等を図るため、「個別施設計画」に基づき、計画的に学校施設の改修を進めます。

学校・家庭・地域社会 の連携・協働と学校経営改革の推進

校長が策定する学校経営方針を尊重し、学校評価や学校運営協議会の充実を図るとともに、経営方針に基づく教育活動の成果を評価・検証し、学校・家庭・地域の協働体制の充実を図ります。そのため、コミュニティ・スクール制度を拡充し、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、地域の教育力を活かした特色ある学校づくりを進め、教員研修や校内研究、OJT等を通して、計画的・継続的な人材育成に努めます。

また、放課後の安全・安心な活動拠点を設け、子どもたちによるスポーツや文化活動等の様々な体験活動、地域住民との交流活動の推進を図るため、中学校部活動の地域移行に向けた協議を始めるとともに、部活動等を通して、生徒が楽しさや



介護福祉学校

これまで2,285人の卒業生を輩出している町内唯一の介護の専門養成校。開校以来34年連続で就職率100%を達成した。

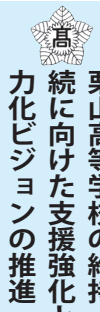


くりやまハーフマラソン

町内外から1,400人を超えるランナーがエントリーした第1回大会。今年度も第2回大会として開催を予定している。

喜びを分かち合う、心身のバランスのとれた成長を支援します。

さらに、体罰は暴力であるとの認識の下、全校挙げて体罰を根絶し、子ども、家庭、地域に信頼される学校づくりを推進するとともに、学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」を受けて策定した「栗山町アクション・プラン」に基づく校務改善を進めるなど、教員の心身の健康保持、誇りとやりがいを持って職務に従事できる環境整備を行い、学校教育の維持向上を図ります。



生徒の資質向上と希望進路に対応する各種支援制度を充実し、定員確保と募集2間口維持を実現します。

また、栗山高等学校の「魅力化ビジョン」を実現するため、介護福祉学校との協働を基軸に産学官連携の高校魅力化コンソーシアムによる教育モデルを構築し、魅力ある高校、選ばれる学校づくりを推進します。

さらに、今春から部活動とし

での新たなスタートとなる女子野球活動につきましては、指導体制の充実など、引き続き必要な支援を行うとともに、学生寮を改修するなど入寮者の生活環境改善を図ります。

社会教育

社会情勢の変化や教育において多様化する課題を踏まえ、すべての町民が、生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、学校、家庭、地域など様々な場で学び、活動することができ、環境づくりに努めるとともに、栗山の豊かな自然、積み重ねられたまちの歴史・文化の良さを活かしながら、みんなで支えあいふるさと栗山を大切にする人を育てる「ふるさと教育」の推進を図ります。

そのため、特に重視することを6点申し上げます。

生涯教育の推進

町民一人ひとりが生涯にわたって生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう、趣味や教養などを高める町民講座などの学習機会の提供や

生涯学習情報誌「マナビイ」の発行、高齢者大学「いきいきスクール」の実施など、学びの機会を提供します。

また、子どもたちの望ましい生活習慣確立のため、家庭教育の機能を高める取組を推進するとともに、「くりやまキッズクラブ」などを通じた自然・社会体験を充実し、栗山町青少年育成事業を支援するなど、青少年の体験活動の機会を提供します。

さらに、豊かな心づくりを目指し、町民の読書活動を支援するとともに、学校図書館との連携推進や子育てブックスタート事業の実施、電子図書館の活用などを通じ、誰もが気軽に図書に触れられる環境整備を図ります。

自然環境教育の推進

「栗山町自然教育中長期計画」に基づき、関係団体の活動支援などを通して、自然・里山環境の保全を進めるなど、人と自然との共生を推進します。

また、オオムラサキ館の管理運営など、国蝶オオムラサキの生息環境を保全し、その生態を公開するとともに、自然体験プ

を3点申し上げます。

戦略的學校経営による経営基盤の確立

これまでの経営改善の取組や第7次総合計画を踏まえた「北海道介護福祉学校中期経営戦略」を策定し、戦略性を持って学校経営に取り組み、持続的経営基盤の確立を目指します。

多彩な方法により学生確保対策を進め、定員充足率向上を図るとともに、特色ある教育カリキュラムの下、確かな知識・技術の習得と国家試験合格率100%を目指し、様々な地域課題の基礎的理解を踏まえた視野の広い介護福祉士を養成します。

さらに、「地域の介護人材は地域と栗山町で育てる」をテーマとする「介護人材の確保に関する自治体包括連携」の取組をはじめ、町立の専門学校であることの機能を最大限に活かし、様々な角度から自治体などとの連携を推進します。

本校の教育機能の有効活用と地域に開かれた学校づくり

学生が主体的に取り組む「地域活動研究」による福祉課題等

ログラムの充実を図り、町内児童生徒の体験学習支援など、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスを拠点とした、本町独自の「ふるさと自然体験教育」を推進します。

スポーツの推進

生涯を通してスポーツに親しみ、健康に過ごすことができるよう、スポーツ協会、スポーツ少年団本部及び各種スポーツイベントへの支援などを通して、年齢や興味関心・技術技能に応じたスポーツの普及・振興に努めます。

また、「第2回くりやまハーフマラソン」を開催し、町民の健康増進はもとより、官民一体となり、まちの賑わいと活力を創出する大会として定着を図ります。

さらに、大学や企業などの合宿・研修などの受入体制の整備を推進します。

芸術・文化活動の支援と文化財の保存・活用及び郷土芸能の継承活動推進

演劇・音楽や芸術鑑賞事業の実施など、文化振興基金補助金を活用した芸術文化に親しむ

の調査・研究、学生と町民が共に学ぶ公開講座の実施、ケアラー支援推進に係る連携協力、社会福祉協議会との連携などを通して、地域包括ケアシステム構築の一端を担い、地域に開かれ、町民に期待され、必要とされる学校として実感される取組を進めます。

また、本校の教育機能を活用し、未来の介護人材発掘にもつながる小中学校における福祉教育を支援するとともに、介護事業所等と連携し、介護職員の資質向上などを支援します。

栗山高等学校との連携による高専一貫教育プログラムの開発・実証事業の着実な推進（文部科学省の委託事業）

栗山高等学校の独自科目「栗山と福祉」が、本年度入学生より開始されることから、本校と栗山高等学校が中心となり、町、社会福祉協議会、介護事業所などとの連携・協働により、高・専の5年間にわたる継続的な学びを効果的に推進します。

ことのできる環境づくりや、文化連盟などと連携した事業を実施するとともに、町民の文化活動や芸術家の活動、伝統文化の継承などを支援します。

また、町の文化財指定や文化財保護に関する啓発活動を推進し、歴史的建造物や貴重な文化財の保護・活用に取り組むとともに、文化財保護委員の協力の下、新たな文化財の発掘・指定について検討します。

国際・地域間交流の推進

将来を担う子どもたちに豊かな感性や国際感覚を身に付けさせるため、海外の生活や文化に直接触れることができる海外派遣事業「少年ジェット希望の翼」を継続するとともに、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、福島県川俣町の子どもたちとの交流を含めた、英語コミュニケーションスキル研修を継続します。

また、姉妹都市である宮城県角田市の子ども交歓のつどいや勤労青年研修事業を継続します。

さらに、町外小中学校・大学等の教育活動の受入れ拡大な



結びに、令和5年度に向けた教育長並びに教育委員4名の決意の一端を申し上げます。

私たちは、これまでの「行動し実行する教育委員会」の姿勢の下、教育に対する町民の想いをしっかりと受け止めながら、「栗山町第7次総合計画」で謳う「人々が元気に輝くふるさとづくり」への歩みを着実なものにするよう努めます。

次代のくりやまを担う子どもたちが、これまで積み重ねてきた、まちの歴史・文化の良さを活かしながら、「ふるさと栗山」に愛着と誇りを持ち、将来に夢・希望を持って成長することができるよう、学校・家庭・地域・行政が連携した、総ぐるみ・総がかりで支える「ふるさと教育」を推進します。

町民の皆さん、議員の皆さん、並びに関係機関・団体の皆さんのご指導とご協力を心からお願い申し上げます。令和5年度の教育行政執行方針とします。

議会の動き

し、総額5億2868万3千円とする補正です。	栗山町農業経営支援基金条例	栗山町個人情報保護に関する法律施行条例	栗山町情報公開条例の一部を改正する条例	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	栗山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	栗山町公営住宅条例の一部を改正する条例	栗山町南部地区町民センター条例等の一部を改正する条例	特定教育・保育施設等の運営に関する基準の改正に伴う関係条例の整理に関する条例
-------------------------------	----------------------	----------------------------	----------------------------	---	------------------------------	------------------------------	----------------------------------	----------------------------	-----------------------------------	---

令和4年度栗山町一般会計補正予算（第11号）	歳入歳出予算に、85万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ102億7287万6千円とするもので、主な内容は旧王子の森調査などに係る補正です。	栗山町栗山駅南交流拠点施設条例	栗山町第7次総合計画基本構想及び基本計画について	本件は、栗山町中長期財政問題等調査特別委員会に付託され、原案どおり可決されました。	2月臨時会議	議案	令和4年度栗山町一般会計補正予算（第12号）	歳入歳出予算に、1億3481万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ104億76
-------------------------------	---	------------------------	---------------------------------	--	---------------	-----------	-------------------------------	--

令和4年度栗山町一般会計補正予算（第13号）	歳入歳出予算から、192万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ104億577万3千円とするもので、主な内容は、新型コロナウイルススワクチン接種費の減額などに係る補正です。	令和4年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	歳入歳出予算に、2328万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億7636万7千円とするもので、主な内容は療養給付費の追加などに係る補正です。	令和4年度北海道介護福祉学校特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算から、209万1千円を減額し、総額を1億551万9千円とするもので、主な内容は、学	令和5年度栗山町一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算に、8848万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ103億9948万5千円とするもので、主な内容は新型コロナウイルスワクチン接種事業などに係る補正です。	栗山町課設置条例の一部を改正する条例	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	栗山町議会の個人情報保護に関する条例	栗山町議会の議員報酬等の特例に関する条例	栗山町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	食品安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産関係の安定を求める意見書	令和5年度一般財団法人栗山町農業振興公社事業計画の報告について
-------------------------------	--	------------------------------------	---	------------------------------------	--	------------------------------	---	---------------------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---	--



1月臨時会議	議案	令和4年度栗山町一般会計補正予算（第11号）	歳入歳出予算に、85万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ102億7287万6千円とするもので、主な内容は旧王子の森調査などに係る補正です。	栗山町栗山駅南交流拠点施設条例	栗山町第7次総合計画基本構想及び基本計画について	本件は、栗山町中長期財政問題等調査特別委員会に付託され、原案どおり可決されました。	2月臨時会議	議案	令和4年度栗山町一般会計補正予算（第12号）	歳入歳出予算に、1億3481万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ104億76
---------------	-----------	-------------------------------	---	------------------------	---------------------------------	--	---------------	-----------	-------------------------------	--

9万4千円とするもので、主な内容は除排雪費用の追加に係る補正です。	3月定例会議	議案	令和4年度栗山町一般会計補正予算（第13号）	歳入歳出予算から、192万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ104億577万3千円とするもので、主な内容は、新型コロナウイルススワクチン接種費の減額などに係る補正です。	令和4年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	歳入歳出予算に、2328万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億7636万7千円とするもので、主な内容は療養給付費の追加などに係る補正です。	令和4年度北海道介護福祉学校特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算から、209万1千円を減額し、総額を1億551万9千円とするもので、主な内容は、学	令和5年度栗山町一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算に、8848万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ103億9948万5千円とするもので、主な内容は新型コロナウイルスワクチン接種事業などに係る補正です。	栗山町課設置条例の一部を改正する条例	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	栗山町議会の個人情報保護に関する条例	栗山町議会の議員報酬等の特例に関する条例	栗山町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	食品安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産関係の安定を求める意見書	令和5年度一般財団法人栗山町農業振興公社事業計画の報告について
--	---------------	-----------	-------------------------------	--	------------------------------------	---	------------------------------------	--	------------------------------	---	---------------------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---	--

生数の確定に伴う授業料の減額などに係る補正です。	令和4年度栗山町介護保険特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算から1億4919万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億9867万3千円とするもので、主な内容は保険給付費の確定による減額などに係る補正です。	令和4年度栗山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算に、482万6千円を追加し、総額を2億5440万円とするもので、北海道後期高齢者医療広域連合の負担金追加に係る補正です。	令和4年度栗山町住宅団地造成事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算から、383万8千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ7747万2千円とするもので、主な内容は、住宅団地造成事業費の実績に係る補正です。	令和4年度栗山町工業団地造成事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算から、482万6千円を追加し、総額を2億5440万円とするもので、北海道後期高齢者医療広域連合の負担金追加に係る補正です。	令和4年度栗山町下水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入及び支出において、下水道事業費用で69万2千円を減額し、総額を4億1770万7千円とする補正です。資本的収入及び支出において、資本的収入の個別排水処理施設事業で126万8千円を追加し、総額1822万8千円とし、資本的支出の下水道事業で33万8千円を追加
---------------------------------	----------------------------------	--	-------------------------------------	---	--------------------------------------	---	--------------------------------------	--	---------------------------------	--

歳入歳出予算から、256万円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ1億6287万9千円とするもので、主な内容は工業団地造成事業費の実績に係る補正です。	令和4年度栗山町水道事業会計補正予算（第2号）	資本的収入及び支出において、整備事業費の確定により、資本的収入で1750万8千円を減額し、総額を1億3255万3千円とし、資本的支出で1822万7千円を減額し、総額を3億1995万8千円とする補正です。	令和4年度栗山町下水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入及び支出において、下水道事業費用で69万2千円を減額し、総額を4億1770万7千円とする補正です。資本的収入及び支出において、資本的収入の個別排水処理施設事業で126万8千円を追加し、総額1822万8千円とし、資本的支出の下水道事業で33万8千円を追加
--	--------------------------------	--	---------------------------------	--

～功績をたたえて～

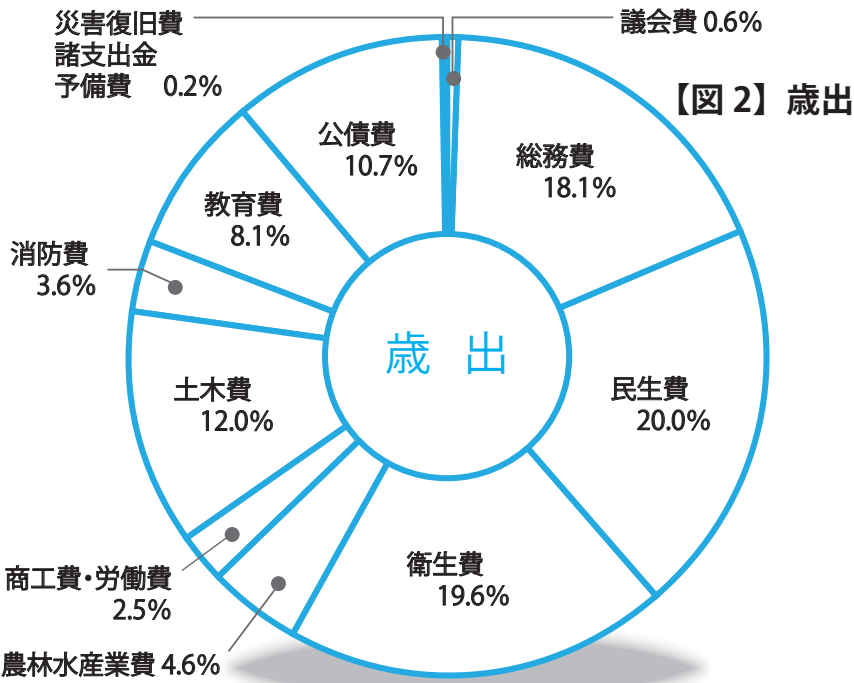
交通栄誉章緑十字銀章
久住 一郎さん

長年安全運転を心がけた優良運転者や交通安全活動に従事された方と、奥さまに対する表彰。交通安全指導員の久住八郎さんが表彰され、奥さまの久住好子さんに感謝状が贈られました。

栗山町青年農業賞表彰式

栗山町青年農業賞
中谷 達郎さん

故勝部徳太郎翁が農業後継者に未来を託したいとの思いから寄付された浄財をもとに、創設された表彰。今年は南学田で就農する中谷さん夫妻が受賞しました。



【図 2】歳出

歳出（町の支出）

目的別の歳出内訳は、児童、高齢者、福祉などに要する民生費が 20 億 5,871 万 8 千円 (20.0%) と最も多く、次いで保健、地域医療対策などに要する衛生費が 20 億 1,675 万 4 千円 (19.6%)、職員給与、庁舎の施設管理などに要する総務費が 18 億 6,470 万 1 千円 (18.1%) の順となっています。【図 2】

【特別会計の概要】

特別会計は特定の事業目的のために一般会計と区分した会計で、町には 6 つの特別会計があります。本年度の特別会計予算の総額は 38 億 646 万円で、前年度と比較し 4 億 7,846 万円 (14.4%) の増となりました。【表 1】主な要因は、工業団地造成事業特別会計における工業団地造成事業費の増によるものです。

【事業会計の概要】

事業会計は、民間企業と同様の経理方法により運営している会計です。町には、水道、下水道の 2 つの事業会計があり、本年度の総額は 18 億 6,954 万 2 千円で、前年度と比較し 2,130 万 1 千円 (1.2%) の増となりました【表 1】。主な要因は、下水道事業の営業費用の増によるものです。

【表 1】各会計予算の概要

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	対前年比 (%)
一般会計	103 億 1,100 万円	89 億 600 万円	14 億 500 万円	15.8
国民健康保険特別会計	14 億 385 万円	14 億 3,204 万円	△ 2,819 万円	△ 2.0
北海道介護福祉学校特別会計	1 億 899 万円	1 億 706 万円	193 万円	1.8
介護保険特別会計	14 億 5,681 万円	14 億 8,472 万円	△ 2,791 万円	△ 1.9
後期高齢者医療特別会計	2 億 6,261 万円	2 億 4,954 万円	1,307 万円	5.2
住宅団地造成事業特別会計	5,573 万円	2,891 万円	2,682 万円	92.8
工業団地造成事業特別会計	5 億 1,847 万円	2,573 万円	4 億 9,274 万円	1,915.0
水道事業会計	7 億 2,165 万 6 千円	7 億 1,796 万 3 千円	369 万 3 千円	0.5
下水道事業会計	11 億 4,788 万 6 千円	11 億 3,027 万 8 千円	1,760 万 8 千円	1.6
合 計	159 億 8,700 万 2 千円	140 億 8,224 万 1 千円	19 億 476 万 1 千円	13.5

— 令和 5 年度予算の概要 —



予算総額

159 億 8,700 万 2 千円

令和 5 年度一般会計、6 つの特別会計、および 2 つの事業会計の予算が、令和 4 年栗山町議会定例会 3 月定例会議で可決されましたので、その概要についてお知らせします。

○令和 5 年度の当初予算額
町全体の予算総額は 159 億 8,700 万 2 千円で、前年度と比較し 19 億 476 万 1 千円 (13.5%) の増となりました。

「第 7 次総合計画」のスタートの年として、主に令和 6 年 4 月から稼働するごみの広域焼却処理施設の整備、栗山高校の魅力づくりの推進と生徒支援策の拡充、栗山赤十字病院の改築支援、土地改良センターの設置、中里住宅団地の造成、災害時の情報伝達手段を兼ねたコミュニティ放送局の開設備や緊急告知 FM ラジオの配布などの予算が計上されました。

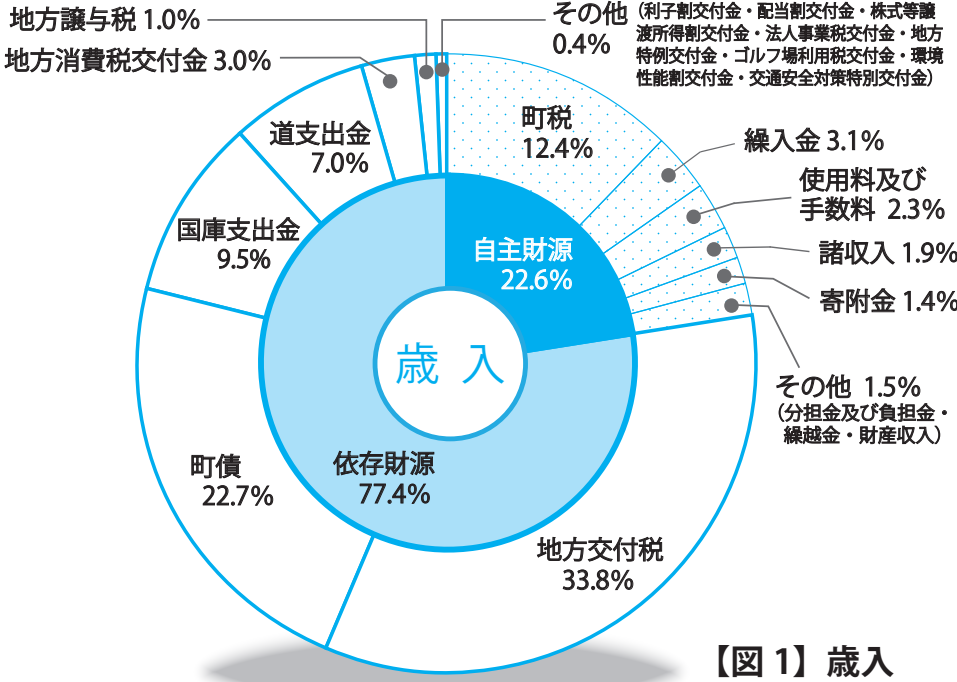
一般会計予算 103 億 1,100 万円の内訳

歳入（町の収入）

【一般会計予算の概要】

町の一番大きな会計であり、福祉、教育、産業などの幅広い事業を行う一般会計は、103 億 1,100 万円で、前年度と比較し 14 億 500 万円 (15.8%) の増となりました。【表 1】

歳入は、町税が前年比 3.6% 増の 12 億 7,689 万 4 千円、地方交付税が前年比 5.1% 増の 34 億 8 千万円、町債が前年比 78.6% 増の 23 億 3,815 万円となりました。国や道からの補助金などによる依存財源の割合は 77.4% で、歳入の 8 割近くが国や道に依存している構造となっています。【図 1】



【図 1】歳入

今年度の主要事業

生活環境

心豊かに暮らせる
ふるさとづくり

○広域組合によるごみ処理体制の構築
5億2669万1千円

○家庭用蓄電池の設置・事業用再生可能エネルギーなどの導入の支援
180万円

○栗山中学校への非常用発電設備の整備
4507万8千円

○高規格救急自動車および高度救命処置用資機材の更新
4020万3千円

○第3分団第2部の小型動力ポンプ積載車の更新
1343万1千円

○防犯カメラの設置
42万9千円

教育

人々が元気に輝く
ふるさとづくり



○学生寮（栗山高校生と介護福祉学校生）の施設改修と入寮者への食事提供
3381万2千円

○福祉・介護分野における高専一貫（栗山高校・介護福祉学校）教育プログラムの開発・実証
873万7千円

○栗山高校女子硬式野球部活動への支援などによる栗山高校「魅力化ビジョン（案）」の推進
987万4千円

○ファブラボ栗山の運営などによるものづくりを通じた担い手づくりの推進
1589万9千円

○栗山駅南交流拠点施設を中心とした観光・交流による地域経済の活性化
5816万3千円

都市基盤
安全・安心で快適な
ふるさとづくり



○幹線町道の道路改良・舗装の実施（杵臼本線等）
1億6160万円

○町道の道路照明LED化工事の実施
5506万3千円

○中里地区での新たな住宅団地の造成
3134万円

○公営住宅の整備・改修の実施（継立団地・中里団地・ふじ団地等）
2億5509万9千円

○除雪車両（グレーダー）の更新
6877万5千円

地域経営
みんなの絆で支え合う
ふるさとづくり

○DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
833万9千円

○コミュニティ放送局の運営支援、緊急告知FMラジオの配布など、町民との情報共有や町外への情報発信の充実
3020万5千円

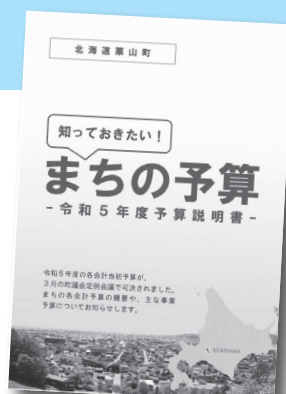
○アクションプランの策定や普及啓発による職場・地域などにおける女性活躍、男女共同参画の推進
374万8千円

詳しい情報は別冊資料をご覧ください

令和5年度予算概要のほか、より具体的な予算内容をまとめた冊子「知っておきたい！まちの予算～令和5年度予算説明書～」を作成しました。

冊子は、下記の施設窓口に配置しているほか、町ホームページに掲載しています。

また、配布も行っていますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。



■設置窓口

- ・役場新庁舎 1階ロビー
- ・カルチャープラザ「Eki」
- ・総合福祉センター「しゃるる」
- ・図書館
- ・農村環境改善センター
- ・南部公民館

【問い合わせ】

町経営企画課行政経営グループ
☎ 73-7503

町の事業について、みなさんにわかりやすく、具体的に紹介するように工夫して作成したホームページ「クリヤマノナカノコト」を4月1日より公開しました。

アンケートなどから、関心の高い事業を中心に紹介していきますので、ぜひご覧ください。（取り上げて欲しい事業、知りたい情報も随時募集しております）



クリヤマノナカノコトはこちら

産業

活力と賑わいあふれる
ふるさとづくり



○農業経営支援基金の創設
1000万円

○土地改良センターの設置・運営負担金
385万8千円

○森林空間活用に向けた人材育成や森林体験プログラムの開発
1251万円

○第5期工業団地の造成
4億7728万1千円

○空き家流通促進事業の実施などによる移住・定住の促進
1729万6千円

○栗山高校の生徒確保と希望進路への支援
958万4千円

○教師用デジタル教科書の整備
491万2千円

○ハサンベツ里山づくりの活動支援
865万2千円

医療・保健・福祉
健康で生きがいを感じる
ふるさとづくり

○施設従事者などを対象とした抗原定性検査やショートステイ安心支援事業の実施
622万8千円

○栗山赤十字病院の改築支援
10億5140万円

○高校3年生までの医療費助成
3282万円

○介護人材の確保や資格取得などへの支援による介護人材の育成
397万2千円

くりやま老舗まつり

4月8日(土)
10:00～16:00

4月9日(日)
10:00～15:00

栗山が誇る老舗「北の錦」小林酒造と「谷田の日本一きびだんご」谷田製菓が織りなす一大イベントを4年ぶりに開催します。
他にも町内各所でイベントを同時開催。皆さんのご来場をお待ちしています。
※感染症対策のため、場内ではマスク着用、手指消毒、検温へご協力をお願いします。

※第35回酒蔵まつり

- 【場所】小林酒造株式会社（錦3） ☎ 72-1001
- ・国の登録有形文化財酒蔵群の一般開放
 - ・北の錦特別限定酒販売
 - ・まつり限定品の有料販売
- ※例年行っている露店の出店、郷土芸能の披露は行いません。

※第22回きびだんごまつり

- 【場所】谷田製菓株式会社（錦3） ☎ 72-1234
- ・製造工場の見学
 - ・きびだんご、栗まんじゅうなどの販売
- ## ※本格手打ちそばまつり
- 【場所】まちの駅「栗夢プラザ」（中央2） ☎ 73-5515
- ・手打ちそばの販売（200食限定・お持ち帰り可）
 - ・北の錦試飲会、限定酒の販売

同時開催！

ふるさと田舎まつり 2023

一市四町（夕張市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町）観光資源の発信を目的に、グルメコーナーやガラポン抽選会など多数のイベントをご用意しています。

【日 時】4月8日(土) 10:00～16:00、9日(日) 10:00～15:00

【場 所】JA そらち南駅前駐車場 【問い合わせ】 ☎ 090-1649-8180 岡本

※無料巡回バスを運行します！

- 【バス発着場】
- ・JR栗山駅 ・ホテルパラダイスヒルズ
 - ・まちの駅「栗夢プラザ」前 ・栗山公園
- ※JR栗山駅から各会場までは徒歩となります。

※駐車場のお知らせ

- ・栗山公園第1～3駐車場
- ・ホテルパラダイスヒルズ
- ・栗山町役場 ・駅前通り商店街イベント広場
- ・くりふと駐車場

※JR（室蘭本線）増結します！

岩見沢→栗山（上り）		
列車番号	栗山駅	両数
1466D	9:26	1→2
1468D	13:08	1→2
1470D	15:28	1
栗山→岩見沢（下り）		
列車番号	栗山駅	両数
1467D	9:38	1→2
1469D	14:28	1→2

飲酒運転は絶対におやめください。また、まつり周辺の違法駐車・無断駐車は絶対にしないでください。



接種方針が変わります

【問い合わせ】
町住民保健課健康推進
グループ ☎ 73-2256

新型コロナウイルス

令和5年度のワクチン接種方針が国より示され、**65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方は、5～8月と9月以降の秋～冬に2回接種を行います。**また、6カ月～11歳の接種も継続して実施します。

	令和4年度	令和5年度	
		春開始接種（5～8月）	秋開始接種（9月以降）
12歳以上	町内での接種は ■12～17歳 4月13日まで ■18歳以上 4月26日まで オミクロン株対応2価ワクチン	初回接種（1・2回目）を終了した以下の方が対象 ①高齢者（65歳以上） ②基礎疾患を有する方（12～64歳） ③医療従事者等 オミクロン株対応2価ワクチン	初回接種（1・2回目接種）を終了した5歳以上のすべての方
		上記以外の方	

	令和4年度	令和5年度	
		春開始接種（5～8月）	秋開始接種（9月以降）
5～11歳	従来型ワクチン 初回接種（1・2回目）、追加接種（3回目）	追加接種 基礎疾患を有する方（5～11歳）に限りさらに1回追加接種が可能 オミクロン株対応2価ワクチン 必要に応じて 接種開始からの期間が短いため、接種期間を延長 オミクロン株対応2価ワクチン （初回接種（1・2回目）は従来型ワクチン）	初回接種（1・2回目接種）を終了した5歳以上のすべての方

※小児接種（5～11歳）、乳幼児接種（6カ月～4歳）対象者の保護者には、接種体制が決まりましたら、個別にご案内します。

春開始接種（5～8月）の詳細

※接種費用は無料です。オミクロン株対応2価ワクチンを使用します。

■接種対象者

初回接種（1・2回目接種）が終了し、前回接種から3カ月以上経過した次の条件に該当する方
①高齢者（65歳以上）②基礎疾患を有する方（12～64歳）③医療機関・高齢者施設等の従事者

■接種スケジュール（予定）

5月上旬～接種券発送 → 5月中旬～接種開始（高齢者施設等） → 5月下旬～接種開始（一般）

※64歳以下の医療機関・高齢者施設等の従事者や基礎疾患を有する方は、事前に接種券の発行申請が必要です。申請方法は広報5月号や町ホームページでお知らせします。

！オミクロン株対応2価ワクチンを一度も接種していない方へ

オミクロン株対応2価ワクチン未接種の方で、春開始接種の対象者でない方（健常な12～64歳）が接種を希望される場合は、必ず5月7日（町内は、12～17歳：4月13日、18歳以上：4月26日）までに接種してください。この期間を過ぎると秋まで接種ができなくなります。

職人技で切れ味抜群

包丁研ぎボランティア

高齢者世帯などを対象とした包丁研ぎのボランティア活動が3月7日、役場営繕室で行われました。町民生委員・児童委員協議会と町技能協会が共同で行っている奉仕活動で今回が4年ぶり29回目。包丁98本を同協会の会員9人が、と石や電動研磨機を使って約2時間にわたり慣れた手つきで研ぎあげました。



茶道の作法を体験

児童センターでお茶教室

お茶教室が3月1日、児童センターで開かれました。講師にMOAインターナショナルの会員や町民生委員・児童委員を迎え、参加した子どもたち約80人は慣れない動きながらも、見事なお点前を披露。伊達桃代会長は「子どもたちが礼儀正しく作法を行う姿が立派でした」と話していました。



くりふとキッチンに出店

札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校

札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校の2年生が2月21日、栗山煉瓦創庫 くりふとに出店しました。同校は、町と食を通じた交流事業を実施しており、今回は栗山の食材を使用したクッキーやマドレーヌなどを提供。学生たちは「このような場で出店ができて楽しかったです」と話していました。



厳冬の災害を想定した宿泊体験

冬季避難所開設訓練

冬季避難所開設訓練が2月18日～19日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。防災士の資格を持つ町民や錦まちづくり協議会などから28人が参加。施設の電気や暖房が使用できない状況を想定して避難所生活・宿泊体験を実施し、災害に対する備えや防災意識向上を高める機会となりました。



4年ぶりに奏でる札幌の音色

ひなまつりコンサート

札幌ひなまつりコンサートが3月11日、スポーツセンターで開かれました。コロナ禍の影響により4年ぶりの開催となった今回は、指揮者の広上淳一さん、ピアニストの外山啓介さんが参加。ガーシュウインの「ラプソディ・イン・ブルー」などを披露し、来場者約800人を魅了していました。



自慢の歌や舞いを披露

高齢者演芸会

町老人クラブ連合会主催の高齢者演芸会が3月8日、カルチャープラザ「Eki」で開かれました。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となった今回は25組45人が参加し、歌謡や民謡、踊りなどで日頃の成果を発揮。詩吟を披露した吉田輝雄さんは「久々の開催で、楽しいステージでした」と話していました。



詐欺被害未然防止に貢献

セブンイレブン栗山松風店・笹浪和博さん

セブンイレブン栗山松風店の店長・笹浪和博さんに栗山警察署から2月24日、感謝状が贈られました。笹浪さんは高齢者が高額電子マネーを購入しようとしたため、使い道などを尋ねたところ詐欺に巻き込まれているのではと思い警察に通報。後日詐欺であったことが判明し、被害の未然防止に繋がりました。



地域活動研究報告会

北海道介護福祉学校

栗山煉瓦創庫 くりふとで2月21日、地域活動研究報告会が開催されました。本活動は、北海道介護福祉学校の2年生25人が3グループに分かれ、町内を学びのフィールドとし、1年間活動。「ユニバーサルデザインの必要性」「地域交流の場の提供」など、活動で学んだ地域課題や解決策を提言しました。

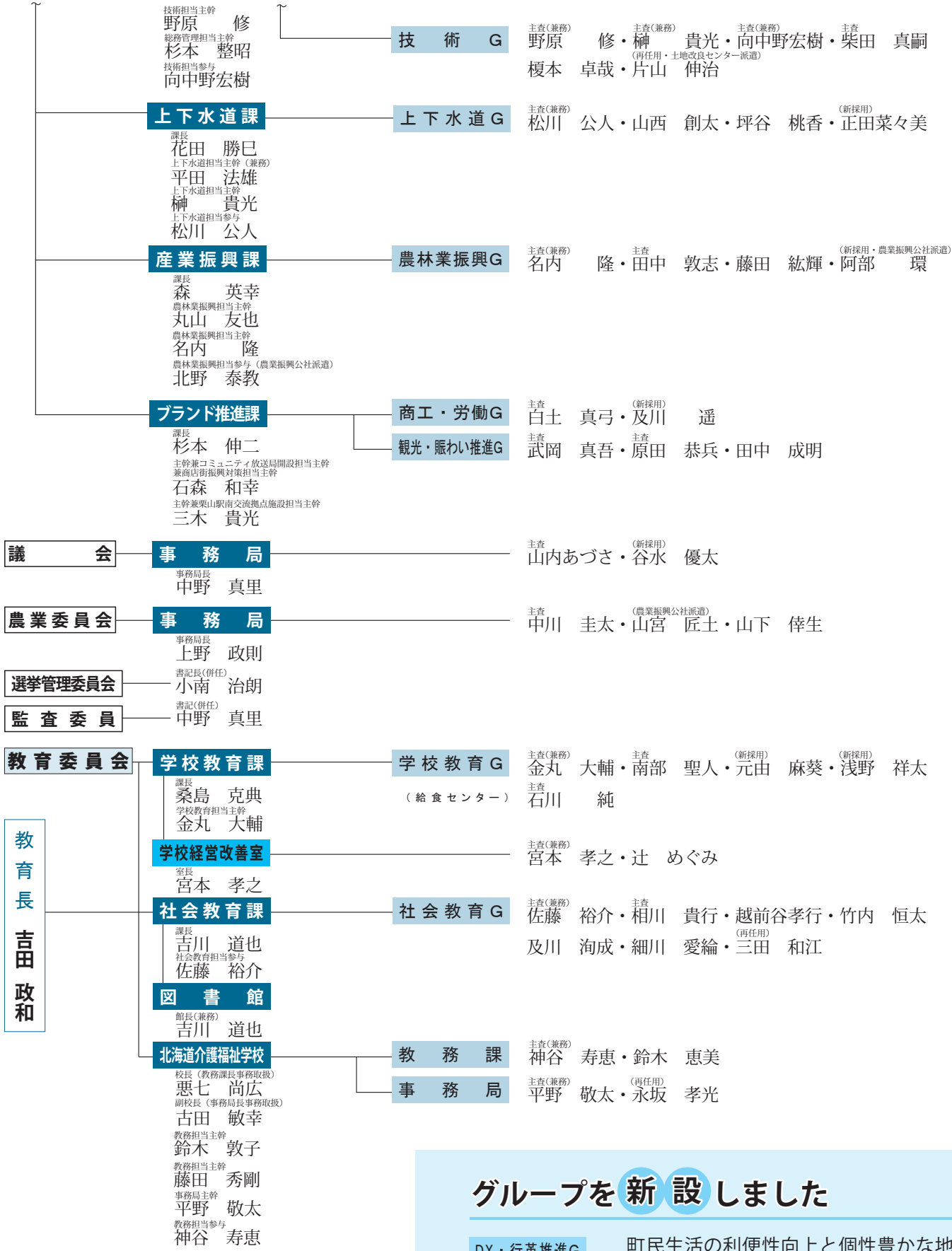
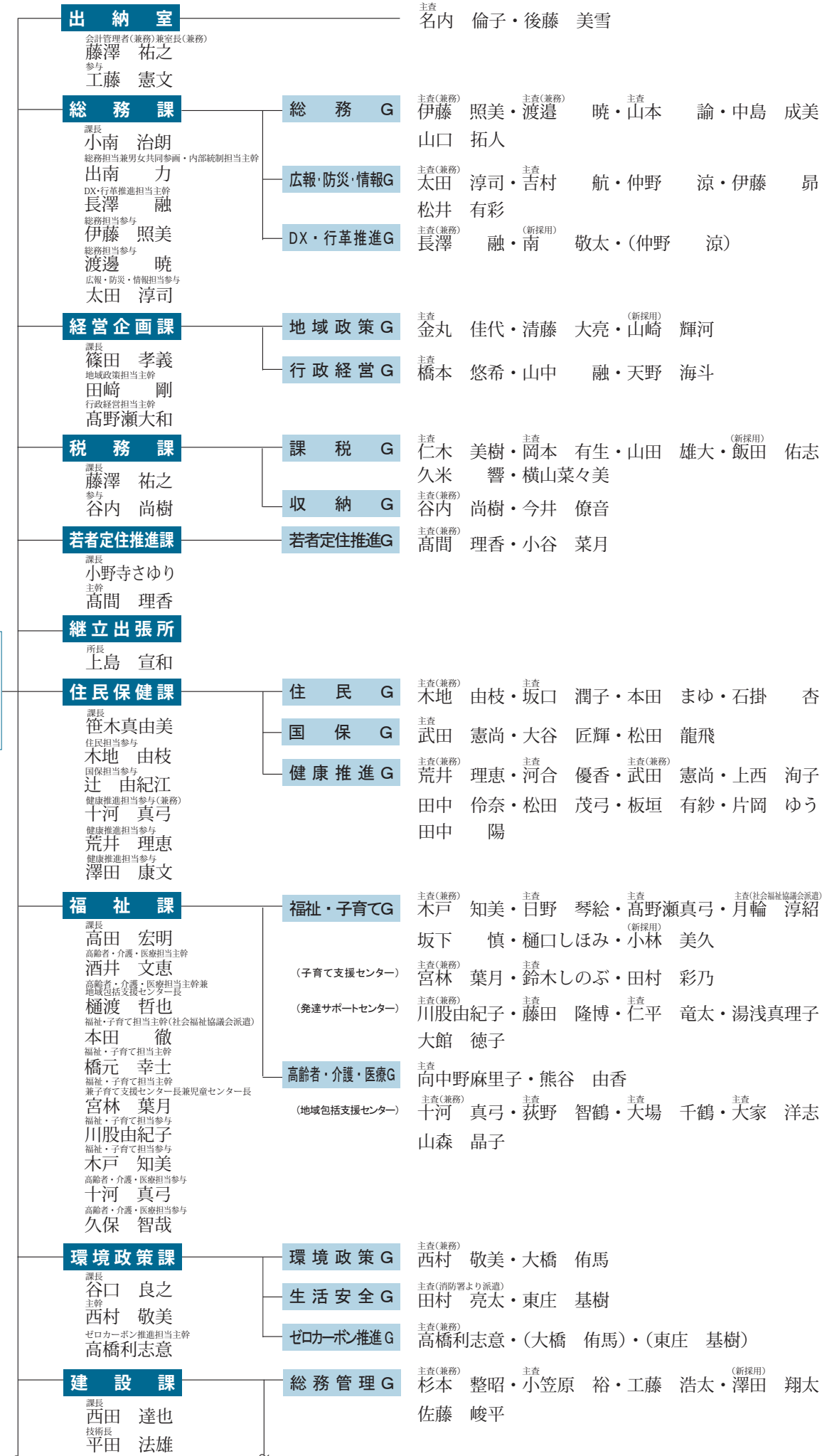


町長

佐々木 学

副町長

橋場 謙吾



【退職者】

鈴木 利一・高間 嘉之・松田とも子
秦野加寿彦・清水 一徳・本田 美穂
(再任用) 片山 伸治

グループを新設しました

DX・行革推進G



町民生活の利便性向上と個性豊かな地域づくりを進めるため、地域社会のデジタル化を推進し、栗山町 DX 推進計画策定やマイナンバーカードの普及促進などに取り組みます。

ゼロカーボン推進G



栗山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づく、再生可能エネルギー導入の促進、省エネの推進などに取り組みます。



31

約10年ぶりに

新たな2件が登録

町指定文化財

歴史を紡ぐ

「栗山」の記憶



1_ 角田村道路元標 (写真右・農村環境改善センター前に設置) 2_ 角田神社奉納額 (絵馬)『武内宿禰と誉田別命 (応神天皇)』(写真左・角田神社内に掲示)

●角田村道路元標

大正8年に勅令第460号で公布された道路法施行令では、市町村単位での道路の起点・終点および町村の位置を示す指標として、道路元標の設置が義務付けられた。角田村道路元標は、国の「勅令第460号」で公布された道路法施行令や、北海道庁「告示第220号」、「内務省令第22号」などに設置が明記されている。また、旧角田村役場の所在地に建てられたものであり、道路に付属する基標であり、各市町村間の里程を示す指標でもある。

●角田神社奉納額 (絵馬)『武内宿禰と誉田別命 (応神天皇)』

角田神社奉納額の『武内宿禰と誉田別命 (応神天皇)』は、大正6年に佐倉 (堀田) 農場から角田神社に納められたもので、絵馬の画題は伝説上の人物である武内が、後に応神天皇となる誉田別命を抱くのが描かれている。奉納額は、戦前栗山の農業では中心の大農場制度を間接的に記録する資料であり、また有力な大農場であった福井農場を継承した佐倉農場を、栗山で唯一確認できる資料であることや、佐倉農場、高木農場をはじめ、角田神社が地域の信仰の中心として住民や大農場とのつながりを示すものである。

1月26日に開かれた栗山町定例教育委員会では、文化の有識者などで構成される町文化財保護委員会 (青木隆夫委員長) から「町指定文化財相当」として答申のあった上記の2件が町指定の有形文化財 (歴史資料) に指定されました。

町指定文化財は、栗山町文化財保護条例 (平成16年4月1日施行) に基づき、「町にとって歴史上又は学術上 (芸術上、鑑賞上) 価値の高いもの」のうち、「町にとって特に重要と認めるもの」として保護するものです。

これまで泉記念館、角田獅子舞、泉麟太郎君記念碑などが指定されており、平成25年以来10年ぶりの登録となり、全12件となりました。



町文化財保護委員会
委員長 青木 隆夫さん

未来に伝える貴重な遺産

文化財は、栗山の歴史と文化を雄弁に物語るモノメントです。今回、文化財保護委員会では、新たに2件の文化財答申を終え、栗山の歩んだ「時の証」を示すことができました。

文化財は地域のアイデンティティを示すものでもあり、これからも栗山の未来に向けて、大切に守り・残し・伝える、貴重な遺産・財産だと感じています。

栗山学び隊 Vol.34

成長を感じた1年間

有馬 美緒さん (北海道介護福祉学校2年)

札幌市出身の有馬さん。中学生の時、職場体験で老人ホームに行ったことがきっかけで介護福祉士になることを決めました。「利用者さんと施設の方が笑顔で話している姿が印象的で、介護に対するイメージが変わりました」と話します。

入学時、勉強についていけるか不安があった有馬さん。「先生からみんなスタートは同じと言われて、勉強の

スイッチが入り、毎日暇を見て実技試験の練習をしていました」と話します。今では「テストで高得点が取れて自信に繋がっています」と1年間で自身の成長を実感している様子でした。

最後に、自分が目指す介護福祉士の理想像を聞くと「利用者さんの想いを周りに伝えられる介護福祉士になりたいです」と笑顔で話していました。

介護福祉学校に通う皆さんの様子をお届けします。
※今月の栗山高校の紹介はお休みします。



北海道日本ハムファイターズでは、2022年まで実施してきた「北海道179市町村応援大使」をリニューアルし、2023年から新たに「北海道応援大使プロジェクト」を今後10年間で展開することになりました。

これまでは、道内の地域バランスを重視して対象市町村を決定し

ていきましたが、今後は球団で振興局単位を基準に各エリアを応援する形に変更となります。

令和5年は、栗山町も含めたオール北海道ボールパーク連携協議会参加の17市町村で実施されることが決定し、12月までの間、観戦ツアーや応援メッセージなど、さまざまな企画を通じて地域活性化に繋がる取組を行います。

町民一丸となって北海道日本ハムファイターズを応援していきましょう！



現在プロジェクトの一環として、今川優馬選手のサイン入りユニフォームを役場に展示しています

ケアラーの窓から Vol.16

栗山町見守り・安心ネットワーク の輪を広げませんか？

近年、「孤独死」や、認知症が原因で行方不明となり重大な事故に巻き込まれるなどの報道が相次いでいます。

町では、支援が必要な高齢者や障がい者、子ども、ケアラーの方などを地域団体や民間事業者と連携し、重層的に見守る体制として「栗山町見守り・安心ネットワーク」を推進しています。

ネットワーク加盟者全体で日常の異変を察知し、必要に応じて町または警察、消防に連絡するなど適切な対応を行っています。

あなたの身の回りで、こんなことはありませんか？

- ・郵便受けに郵便物や新聞がたまっている
- ・洗濯物が何日も干したまま
- ・何度訪問しても応答がない
- ・怒鳴り声や悲鳴が聞こえる
- ・昼夜電灯がついたまま
- ・体に不自然な傷や火傷の跡がある など

＼皆さんの悩み、お聞きします／



町地域包括支援センター
おおや ひろし
大家 洋志 社会福祉士

本事業に協力していただける地域団体や民間事業所の皆さんの加入をお願いしています。
詳しくは、町地域包括支援センターまでご連絡ください。



町ホームページはこちら→



Vol.181

【最新情報を簡単アクセス】
★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



4月29日(祝)に栗山公園がオープン。当日は、オープンイベントも予定しています。また、桜の開花時期ですので、お花に癒されるひとときをお過ごしください。

4月29日10:00～
栗山公園オープン

10:00～
お菓子・パクパクタイム無料券プレゼント
お菓子200個・パクパクタイム無料券50枚です。(先着)

11:00～15:00
大人気パクパクタイム
ポニー・うさぎ・エゾシカなどに、餌やりができます。

12:00～
ダリア球根プレゼント
ぜひ、ご家庭で育てみてください。(先着50人)

12:30～
みのり太鼓のステージショー
力強く、迫力のある太鼓の音色をお楽しみください。

イベントタイム ＼スケジュール／

【問い合わせ】栗山公園案内所 指定管理者株式会社たかはしダリア ☎ 72-0706

町史の 隠れ家 vol.9

研究員 青木 隆夫
町史資料調査室 ☎ 76-7820

YouTubeで
歴史コンテンツ
公開中！



青春の赤い門「栗山高等学校正門」

今月、新入学生を迎える栗山高等学校の歴史は、明治43年に設置された私立裁縫女学校から始まります。その後は角田村が運営する栗山高等裁縫学校となり、実科高等女学校、高等女学校と校名も変わり、昭和24年に、現在の栗山高等学校となりました。

煉瓦造りの正門は、昭和5年の栗山実科高等女学校の校舍新築の際に、小林酒造二代目の小林米三郎・チノ夫妻から贈られたものです。

赤煉瓦と石を交互に挟む、高さ約3mの校門は学生たちから「赤門」と親しまれ、時代を通じて学校のシンボルとして役割を果たしてきました。

煉瓦の長手と小口面を一段ごとに繰り返す英国積みに、石を挟みアクセントとした門柱は、昭和48年の栗山高等学校校舎移転の翌年、小林米三郎氏(三代目)のご好意で現校舎に移設されています。

「赤門」と言えば東京大学の代名詞ですが、江戸時代、大名家に嫁いだ将軍家の子女の住宅を御守殿と呼び、その門を朱塗りにしたことから赤門と呼ばれていました。何気なく立つ門柱も、この女学校の伝統にあやかっただけのものなのかもしれません。

No.80

新しい力で栗山を元気に
地域おこし協力隊です



ものづくりDIY工房運営支援員
すずき あつふみ
鈴木 敦文 隊員



協力隊の活動は
Facebookで発信中！

ほぼ、何でも作ることができる「ファブラボ栗山」

ものづくりDIY工房運営支援員として、「ファブラボ栗山」を担当しています。

栗山町に移住してから1年半が経ちましたが、ありがたいことに、日々進化するファブラボの環境で毎日新鮮な気持ちで活動しており、現在、絶賛修行中です。

今年の1月、ファブラボはこれまで試行場所として使用していた「あさひ工房」から、駅の近くに誕生した新施設「栗山煉瓦創庫くりふと」に移転しました。それに伴い、木工家具づくりなどの板材をデジタル加工できる大型の切削加工機(CNCルータ)が導入され、さらに充実した環境となりました。

今後も新しい機材やサービスを加えていく予定で、より「ほぼ、何でも作ることができる」ファブラボとして、さらに充実した環境となっていきます。

例えば、室内の温度をスマートフォンの遠隔操作で計測するデバイスを作成したい場合、3Dプリンターやレーザー加工機でボディを作成し、小型の切削加工機で電子回路基盤を彫刻・カット、電子部品(マイコンやセンサ)のはんだ付けや、プログラミングをして完成となります。

毎週、オープンラボや安全操作講習などを行っていますので、ぜひファブラボに遊びに来てください！



集団健診は インターネットで 簡単予約できます

集団健診の予約が電話・窓口予約に加えて、土日祝 24 時間受付ネット予約が可能となりました。集団健診以外の個別健診は、従来どおり電話予約です。



予約はこちら

／CHECK／

あなたの“命”を守る「集団健診」



集団健診では、がん検診と生活習慣病予防のための健診が受けられます。健診は年に一度、全身の健康状態を確認できる機会です。健診を受けて、健康づくりに役立てましょう。

●がん検診

胃、肺、大腸、子宮、乳の5つのがんは、国が推奨するがん検診で、これらは早期発見と適切な治療により救命の効果や治癒の可能性が上がり、治療内容も軽くなります。多くのがんは初期の自覚症状がほとんどないため、症状のない元気なときに継続して検診を受けることが大切です。気になる症状のある方は、すぐに医療機関を受診しましょう。

●生活習慣病の健診

全身の血管を傷つける血圧・脂質・血糖や肝臓・腎臓の状態など、自覚症状ではわかりにくい身体の状態を知ることができます。病院にかかる機会が少ない方や通院中の方も、年齢に関係なく自分の健康状態を確認することが大切です。また、過去の健診と比較することで、自分の身体に合わせて生活習慣を見直すことができます。

【日程】(会場:しゃるる)

- ・7月3日(月)、4日(火)
- ・9月5日(火)、6日(水)
- ・11月22日(水)
- ・12月10日(日)
- ・1月14日(日)



今月号折込の「保健サービスガイド」には、集団健診の日程や町の保健サービスに関する情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

健康相談日のお知らせ

毎月第2・4月曜日に町保健師、町管理栄養士による相談を行っています。相談日には体成分分析器で、部位別の筋肉や脂肪量を簡単に計測できます。日頃の健康づくりに役立ちますので、ぜひご利用ください。※4月は10、24日です。

■時 間 13:00～16:00

■場 所 総合福祉センター「しゃるる」
※前週金曜日までに上記へ申し込みください。



献血のお知らせ

コロナ禍の影響で献血協力者が大変減少しています。ご協力をお願いします。

■日 時 4月12日(水)

9:30～ 消防署

12:00～ 介護福祉学校

13:30～ 警察署

15:30～ 栗山赤十字病院
(各会場 1時間程度)



まちという名の家族



子育てボランティア募集中！



地域の子育て、一緒に応援しませんか？



子育て支援センター「スキップ」では年5～6回・2時間程度、子どもたちの託児をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。子育て経験者や子どもが好きな方など、どなたでも大歓迎！ぜひボランティア登録をして、一緒に子育てを応援しませんか？

●業務内容

- ①子育て支援センター「スキップ」の講座や育児サークル行事での託児
- ②イベントや催し(講演会やお楽しみ会など)のお手伝い

●対 象

- ①町内在住・在勤の方
 - ②子育てボランティア活動に興味のある方
- ※特別な資格は不要です。

【申込先】

町子育て支援センター「スキップ」 ☎ 72-1280

ボランティアさんに聞いてみました！



子どもの成長を
間近に感じられる

さいとう みすず
齊藤 美涼 さん



資格がなくても
安心して活動できます

すぎもと まゆみ
杉本 真由美 さん

学生時代からこのような活動に興味があり、広報で募集記事を見てすぐに登録しました。仕事をしながらなので、参加する機会に限られていますが、子どもたちもボランティアさんも温かく迎え入れてくれて、とてもいい環境で活動できています。最近、登録初期から見ていた恥ずかしがりやの男の子が、だんだんと自発的に動くようになった姿を見て、成長を身近で感じることができ嬉しかったです。大変やりがいのあるボランティアですので、ぜひ一緒に活動できればと思います。

町の保育士の方にお声かけいただき、平成27年から約8年にわたり活動に携わっています。これまでの子育て経験を活かし、今でも身体を動かしたり声を出したりなど、子どもたちと一緒にパワフルに活動できてとても楽しいです。乳幼児の託児の機会もありますが、子育ての経験や特別な資格がなくても、困ったら保育士の先生もいるので、安心して活動できると思います。笑顔で子どもたちを迎えることができる方であれば大歓迎です。ぜひお待ちしております。

CHECK! もし、私有地にごみが捨てられたら



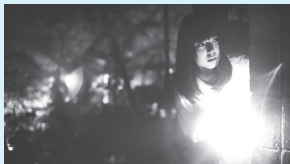
私有地に捨てられたごみは、町で撤去できません。不法投棄をした者が特定できない場合は土地所有者による処分が必要です。

【不法投棄を防ぐための対策】

- 1 こまめな草刈りで見通しをよく



- 2 定期的な見回りを行う



- 3 不法投棄禁止の看板を設置



土地を守るのは自分自身です。不法投棄をさせない環境づくりにご協力をお願いします。



不法投棄は犯罪です！

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」では、みだりにごみを捨てることを禁じており、不法投棄を行った場合、重い刑

罰もあります。ここ数年、町内でも実際に通報や不法投棄の相談の問い合わせも来ており、本町にとっても身近な大きな問題となっています。不法投棄の現場を目撃した、または不法投棄物を発見した場合は栗山警察署（☎ 72-0110）または町環境政策課に連絡をお願いします。



不法投棄は「しない！」「させない！」

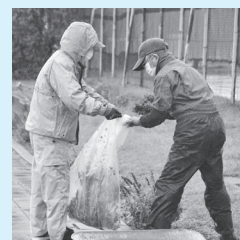


「不法投棄」に科せられる重い刑罰



「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に基づき、不法投棄を行った場合、5年以下の懲役もしくは1,000万円（法人は1億円）以下の罰金、またはその両方が科せられます。

春の全町一斉清掃



4月16日 日 7:00～6:45に打上花火で合図します。詳しくは各町内会・自治会経由でお知らせします。（雨天決行）※家庭ごみの収集はしません。

野犬、掃討します



放し飼いの犬は、野犬とみなし捕獲処分します。ご注意ください。
■期 間 令和6年3月末まで
■区 域 町内全域

栗山警察署 ☎ 72-0110

【問い合わせ】

自転車には防犯登録とツーロックを！

雪解けを迎えると、自転車の盗難被害が増加します。大切な自転車を守るため、備え付け錠のほか丈夫なU字型錠などで「ツーロック」をしましょう。

新入学（園）期の交通安全運動を実施します



詐欺電話が来たら ☎ # 9110（栗山警察署）

南空知消費生活相談室です！ ☎ 72-3581（勤労者福祉センター内）

事例

今月のテーマ「引っ越し時の破損・紛失トラブルにご注意！」

引越業者に荷造りを任せて引っ越しをした際、有名作家の陶器の縁が欠けてしまった。業者は責任を認めて弁償すると言うが、提示された金額はこちらの申告よりも遥かに少ない。事前に貴重な陶器作品とは申告していなかったが、納得できない。（60代）



POINT!

貴重品や壊れやすいものは、事前に業者に伝えましょう！

- 引っ越しの契約には、国が定めた標準引越運送約款、もしくは国土交通大臣の認可を得た業者独自の約款が使用され、契約内容は原則契約した際の約款の記載に従うことになります。契約の際は約款をよく確認しましょう。
- 引っ越し後は、すぐに荷物の状態確認が大切です。破損や紛失による損害賠償が受けられる場合でも、購入時の価格が必ず補償されるわけではないことを認識しましょう。

【相談日】 毎週 月・木曜日 13:00～16:00
毎月 第2・4水曜日 13:00～15:00

困った時はお気軽にご相談ください。相談無料で申込不要です。



●マイナンバーカード夜間窓口を開設しています 【開設日】 4月13日(木)、27日(木) 【受付時間】 午後5時15分～午後7時まで
【町住民保健課住民グループ ☎ 7509】 【受付業務】 マイナンバーカードの交付、電子証明書の更新、暗証番号の再設定

くらし

ふるさと福祉基金助成金

障がい者福祉の向上に寄与する民間団体、民間事業所の事業活動を支援します。

◆対象事業

①障がい者福祉団体活動

○対象

障がい者福祉の推進を目的に公益事業を行う民間団体

○事業内容

・障がいに対する町民の理解や意識の向上に寄与する事業（研修会など）

・福祉・ボランティア活動などの実施に必要な設備・備品などの整備

②障がい福祉サービス事業所活動

○対象

町内で障害者総合支援法に基づく福祉サービスを提供する民間事業所

○事業内容

・障がい者の住環境や生活支援サービスの充実に寄与する事業

・障がい者の就労環境の向上や経済的な自立を推進する事業（作業工賃の向上など）

◆助成割合

①障がい者福祉団体活動 助成対象経費の全額

②障がい福祉サービス事業所活動 助成対象経費の $\frac{2}{3}$ 以内

※事業区分ごとに上限額の設定があります。詳細はお問い合わせください。

◆受付期間
○第1期 4月3日(月)～20日(木)
○第2期 7月11日(火)～31日(月)

◆申込先・問い合わせ
町福祉課
福祉・子育てグループ
☎ 72222

福祉ハイヤー
利用料金助成

心身に障がいをお持ちで歩行が困難な方などに対し、ハイヤーの基本料金を助成します。

◆対象

令和4年度の町民税非課

税世帯で、次のいずれかに該当する方

①身体障がいの程度が1級または2級で下肢・体幹・視覚のいずれかに障がいをお持ちの方

②身体障害者・児であつてじん臓機能障がいの人工透析通院者（町内医療機関への通院に限る）

③療育手帳A判定の方（児童含む）

◆必要なもの
印鑑、身体障害者手帳または療育手帳

◆利用できる事業所
株式会社栗山ハイヤー

◆申込先・問い合わせ
町福祉課
福祉・子育てグループ
☎ 72222

指定ごみ袋の無料配付

◆対象

紙おむつや尿取りパットを使用していて、介護認定を受けている人または身体障害者手帳や療育手帳の所持者がいる世帯

◆必要なもの

・対象者証明書類（介護保険被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳など）

・紙おむつなどを購入したことがわかるもの（レシートなど）

・印鑑

※前年度対象者は、前年度分の配付証と印鑑が必要です。

◆配布内容

○紙おむつの場合

・茶色袋35リットル 1カ月10枚

・茶色袋50リットル 1カ月5枚

○尿とりパットの場合

・茶色袋35リットル 1カ月5枚

◆申込先・問い合わせ
町福祉課
福祉・子育てグループ
☎ 72222

固定資産税の
縦覧・閲覧

◆対象

○土地・家屋価格縦覧帳簿の縦覧

土地・家屋の納税義務者

○固定資産税課税台帳の閲覧

本人または同世帯の家族

◆期間

4月3日(月)～5月31日(木)（期間を過ぎても閲覧可）

◆縦覧・閲覧に必要なもの
身分証明書（運転免許証など）

◆場所・問い合わせ

町税務課課税グループ
☎ 7504

人にやさしい住宅助成

町内在住の方が、町内事業者に依頼して次の①～③の工事をした場合に、工事費の一部を助成をします。

※工事後本町に移住予定の場合や、解体工事の場合は町外の方も対象です。

◆助成額（限度額）

①バリアフリー改修工事 工事費の3割（30万円）

②耐震改修工事 工事費の2割（50万円）

③解体工事 工事費の2割（20万円）

※建設業許可を得ている町内事業者が施工する工事に限ります。

◆申請期限（着工前に申請）

12月29日(金)

（耐震改修工事は9月末）

◆申請先・問い合わせ

町建設課技術グループ

外壁の塗装などは
周囲と調和するものを

栗山町景観条例により、外壁や屋根の工事（塗装など）を行う際、周囲と調和する目立たないものとする

ことが定められています。

また次に示す工事は事前に届出が必要になります。

◆届出が必要な工事

延べ床面積200㎡を超える建物、新築・増改築・外観の変更（屋根や外壁の張替・塗装など）する場合

※建物の高さや色彩を規制し、景観に配慮した町づくりを行うためのもです。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

◆申請先・問い合わせ

町建設課技術グループ
☎ 7513

あぶない、川の増水に
注意しましょう！

夕張川には北海道企業局が管理する川端発電所があり、発電を行うため川へ水を流します。

このとき、川の水が増えて危険な状態となりますので、川遊びや魚釣りなどで河原や川の中に入らないようお願いします。

◆問い合わせ

北海道企業局
夕張川発電管理事務所
☎ 0123 572542

油漏れ事故に注意！

雪解け時期にはホームタンクから灯油の漏れる事故が多く、河川へ流出する事故も起きています。このような事故を防ぐため、住宅や事業所のホームタンク、配管などに異常がないか、日頃から点検するよう心掛けましょう。

○点検のポイント
・タンク本体からの漏れはないか。

・積雪などで配管の破損・ゆるみ・漏れはないか。

・地震などで転倒しないよう、タンクの脚部を束石などに固定しているか。

・油の使用量以上にタンク燃料ゲージの減りは早くないか。

※油漏れ事故が発生した場合は、消防署または役場へ通報をお願いします。

◆問い合わせ

南空知消防組合消防署
生活安全課
☎ 720150

春はヒグマにご注意を

冬眠明けは餌を求めて活発に活動するため、ヒグマと遭遇する確率が高まります。昨年、町内で出死していますので、次のルールを守って行動しましょう。

出没情報はホームページでお知らせします。

○基本的な3つのルール
・食べ物やごみなどを放置しない
・出没箇所周辺には極力近づかない

・足跡やフンを見たら引き返す

◆問い合わせ

町産業振興課
農林業振興グループ
☎ 7515

試験

危険物取扱者試験

◆試験日

6月18日(日)

◆試験場所・種類

・札幌市 甲種（受験資格制限あり）、乙種（第1～6類）、丙種

◆願書受付期間

○電子申請 4月28日(金)～5月8日(月)

○書面申請

5月1日(月)～11日(木)

◆請求先・問い合わせ

南空知消防組合消防署
生活安全課
☎ 720150

消防設備士試験

◆試験日

5月21日(日)

◆試験場所・種類

・札幌市 甲種（第1～5類）、乙種（第1～7類）

◆受験資格

甲種は制限あり

◆願書受付期間

○電子申請 4月4日(火)～11日(火)

○書面申請

4月7日(金)～14日(金)

◆請求先・問い合わせ

南空知消防組合消防署
生活安全課
☎ 720150

相談

無料法律相談

札幌弁護士会所属事務所による法律相談を行います。

◆日時（1人30分程度）

4月21日(金)
午後1時～4時

◆場所

総合福祉センター「しやるる」

◆定員（事前予約制）
6人

◆申込先・問い合わせ

町社会福祉協議会
☎ 71322



令和5年 町内会長・自治会長

一町内会長一				南				河村茂				鳩山山越敏彦			
松風第1	大沼英明	山の手	福永力	山の手	福永力	鳩雨煙	別尾江	貴弘	山の手	福永力	鳩雨煙	別尾江	貴弘	山の手	福永力
松風第2	畔越正春	桜丘	角田伸慶	桜丘	角田伸慶	緑丘	山田典正	典正	山田典正	角田伸慶	緑丘	山田典正	典正	山田典正	角田伸慶
寺町	高倉淳	松栄	八木橋義則	松栄	八木橋義則	北学田	塚本政紀	政紀	塚本政紀	八木橋義則	北学田	塚本政紀	政紀	塚本政紀	八木橋義則
松風本町	工藤信司	中央	富澤龍男	中央	富澤龍男	桜山	鷺尾正臣	正臣	鷺尾正臣	富澤龍男	桜山	鷺尾正臣	正臣	鷺尾正臣	富澤龍男
松風第5	村上勝彦	朝日	湯地定曉	朝日	湯地定曉	杵臼	松本明司	明司	松本明司	湯地定曉	杵臼	松本明司	明司	松本明司	湯地定曉
松風第6	松原由典	朝日4丁目	古瀬一芳	朝日4丁目	古瀬一芳	旭台	名内稔弘	稔弘	名内稔弘	古瀬一芳	旭台	名内稔弘	稔弘	名内稔弘	古瀬一芳
松風第7	山崎信治	栗山農事	赤穂範士郎	栗山農事	赤穂範士郎	共和	亀田博	博	亀田博	赤穂範士郎	共和	亀田博	博	亀田博	赤穂範士郎
松風第8	河合政明	中里団地	田岡勝	中里団地	田岡勝	三日月	西田秀樹	秀樹	西田秀樹	田岡勝	三日月	西田秀樹	秀樹	西田秀樹	田岡勝
松風第9	山本守	睦	関吉一郎	睦	関吉一郎	阿野呂	野原豊	豊	野原豊	関吉一郎	阿野呂	野原豊	豊	野原豊	関吉一郎
2区	宮川博	新里	大友晴雄	新里	大友晴雄	大井分	沢田典幸	典幸	沢田典幸	大友晴雄	大井分	沢田典幸	典幸	沢田典幸	大友晴雄
3区共親会	置田武司	ときわ	丸山俊信	ときわ	丸山俊信	南学田	千葉周作	周作	千葉周作	大友晴雄	南学田	千葉周作	周作	千葉周作	大友晴雄
4区共和会	岡嶋克明	湯地中央	中山邦夫	湯地中央	中山邦夫	御園	岩崎英伯	英伯	岩崎英伯	大友晴雄	御園	岩崎英伯	英伯	岩崎英伯	大友晴雄
5区	檜崎忠彦	ふじ団地	太田昇	ふじ団地	太田昇	南角田	笹谷賢治	賢治	笹谷賢治	大友晴雄	南角田	笹谷賢治	賢治	笹谷賢治	大友晴雄
6区	前田勝治	みなみ中里	吉田義人	みなみ中里	吉田義人	円山	石川巖	巖	石川巖	大友晴雄	円山	石川巖	巖	石川巖	大友晴雄
7区	小野政則	青葉	元田守	青葉	元田守	東山	土門雅一	雅一	土門雅一	大友晴雄	東山	土門雅一	雅一	土門雅一	大友晴雄
8区親交会	坂口昇一	道栄	笹森孝雄	道栄	笹森孝雄	滝下	川浦孝治	孝治	川浦孝治	大友晴雄	滝下	川浦孝治	孝治	川浦孝治	大友晴雄
9区	岡本大作					角田町内会連合会	永田英隆	英隆	永田英隆	大友晴雄	角田町内会連合会	永田英隆	英隆	永田英隆	大友晴雄
10区	岩佐和義	富士桂	一照	富士桂	一照	継立町内連合会	喜多村茂広	茂広	喜多村茂広	大友晴雄	継立町内連合会	喜多村茂広	茂広	喜多村茂広	大友晴雄
12区	青木朝雄	中里山崎耕一	一照	中里山崎耕一	一照	日出連合町内会	草間真性	真性	草間真性	大友晴雄	日出連合町内会	草間真性	真性	草間真性	大友晴雄
北区	武岡弘己	湯地	刈野剛美	湯地	刈野剛美					大友晴雄					大友晴雄
西区	塩原秀夫	森	橋本慶子	森	橋本慶子					大友晴雄					大友晴雄

(敬称略)

国民年金

電子申請（マイナポータル）が可能です

国民年金被保険者の資格取得（種別変更）の届出、国民年金保険料免除・免除猶予申請や学生納付特例申請の電子申請ができます。

■申請方法

・マイナポータルで手続きを確認して申請

国民年金に関する質問に回答して、必要な手続きを確認して申請できます。

・マイナポータルのお知らせから手続きの案内を受け取って申請

ねんきんネットを利用している方には、必要な手続きの案内を日本年金機構からマイナポータルを通じてお送りします。申請内容の一部または全部を自動的に入力した状態から簡単に申請できます。

■必要なもの

・マイナンバーカード
・パスワード（4桁）

【問い合わせ】

町住民保健課国保グループ ☎ 73-7508



申請方法は
こちら

オレンジカフェのお知らせ



【日 時】
4月19日(水)
13:30～14:30
【場 所】
カルチャープラザ「Eki」

今回の講師はガーデンハウスくりやま支援相談員の田中沙織さんです。介護保険制度の仕組みとサービスについて分かりやすく説明します。住み慣れた自宅で元気に過ごせるように、もしもの時に備えましょう。

オレンジカフェでは、心配事や話を聞いて欲しいなどの相談を随時お受けしていますので、気軽にお越しください。(事前申込制)

【申込先】ガーデンハウスくりやま ☎ 72-2600

水道使用開始の届け出を忘れずに

引っ越しにより新たに水道を使用する場合は、必ず届け出が必要です。届け出がないと水道を使用することができませんので、忘れずに届け出をお願いします。

届け出の際には、氏名、住所、連絡先、使用開始日をお知らせください。

【問い合わせ】町上下水道課 ☎ 73-7514

陸・海・空 自衛官募集

【問い合わせ】 ☎ 0123-34-5438
札幌地方協力本部恵庭地域事務所

一般幹部候補生採用試験

【受 付】4月1日(土)～4月14日(金)
【試験日】4月22日(土)
【対 象】22歳～26歳未満

一般曹候補生採用試験

【受 付】4月1日(土)～5月9日(火)
【試験日】5月19日(金)～21日(日)
【対 象】18歳～33歳未満

自衛官採用説明会

【会 場】恵庭地域事務所
※土日は事前予約

※その他、年齢や必要資格などはお問い合わせください。

ファイターズ戦にご招待！ 栗山町民応援デー

北海道日本ハムファイターズでは、5月17日(水)18:00からエスコンフィールド HOKKAIDO で開催される埼玉西武ライオンズ戦に、栗山町にお住まいの方200組400人をご招待します。

【対象席種】 エスコンフィールド指定席(塁側・座席位置は選べません)
【申込方法】 右の申込フォームにアクセスしてください。
【申込期間】 4月1日(土)～30日(日) (応募多数の場合は抽選)
【受取方法】 当落通知は、申込締切後、約1週間以内にメールで送付します。
[fighters.co.jp]および[fmail.fighters.co.jp]の各ドメインからのメールを受信できるよう、事前に設定をお願いします。
チケット(QR入場券)は当選通知と共にメールでお送りしますので、ご入場の際にご提示ください。

【問い合わせ】 北海道日本ハムファイターズ



申込フォーム



問い合わせ

第20回統一地方選挙

あなたの1票で未来が変わる

北海道知事選挙および北海道議会議員選挙

投票日 **4月9日(日)** 7:00～19:00

◆北海道知事選挙 / 告示日 3月23日(木)
◆北海道議会議員選挙 / 告示日 3月31日(金)

栗山町議会議員選挙

投票日 **4月23日(日)** 7:00～19:00

◆告示日 4月18日(火)

◆期日前投票

◇日 時：告示日の翌日から投票日の前日まで
◇時 間：午前8時30分から午後8時まで
◇場 所：町選挙管理委員会室(役場庁舎1階)

※投票日当日は、投票所入場券に記載されている指定の投票所で投票してください。

【問い合わせ】

町選挙管理委員会 ☎ 72-1362

図5 朝食を食べる

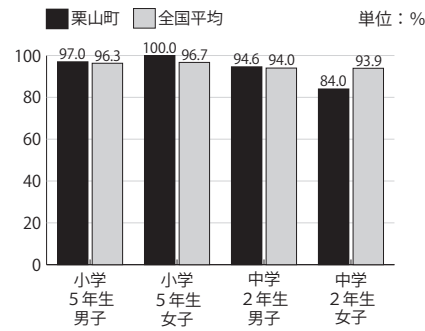


図6 小学5年生の睡眠時間(8時間以上)

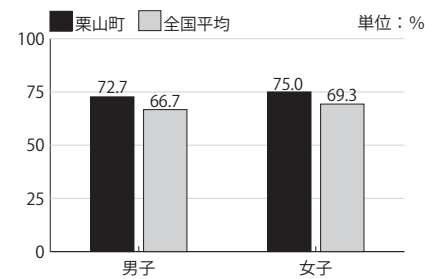


図7 中学2年生の睡眠時間(6～8時間)

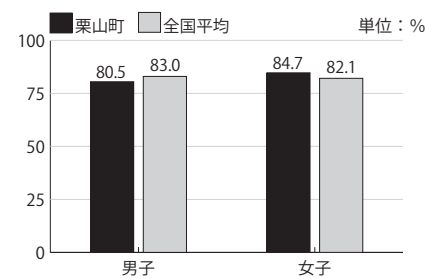


図8 保健体育の授業で目標を意識した学習で「できたり、分かったり」すること

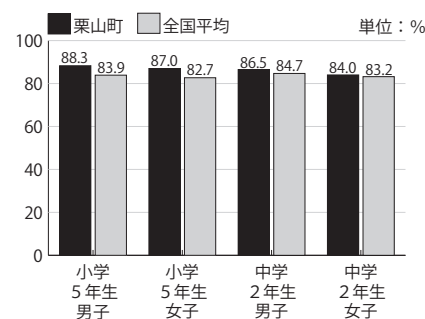
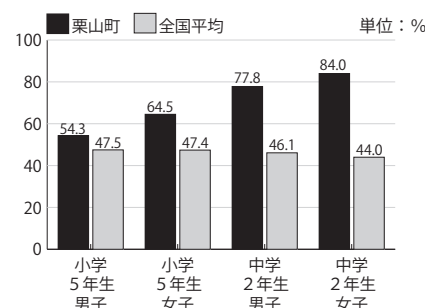


図9 保健体育の授業でICTを使った学習で「できたり、分かったり」すること



生活・運動習慣調査の結果

◆生活習慣の改善

「朝食を食べる」と回答した割合は、小学校男女と中学校男子が全国平均を上回っています。

一方、中学校女子は低い傾向にあり、今後の改善が求められます。

また、睡眠時間と体力との関係はこれまでの調査結果から、小学生で8時間以上、中学生では6～8時間の睡眠時間を確保している児童生徒の体力合計点が最も高くなる傾向にあると考えられます。(図5～7参照)

児童生徒が健やかに成長していくためには、適切な運動や調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が

大切です。体力はもとより、学習意欲や気力の低下につながることもないよう、望ましい基本的生活習慣の育成に配慮していく必要があります。

◆運動習慣への働きかけ

体力向上のためには、運動時間を増やすことも大切です。その一例として、家庭においてスポーツと一緒にしたり、話したりする頻度が高くなるほど、運動時間も長くなる傾向にあることが示されています。家庭との連携を積極的に図って行くことが、体力向上に向けた有効策の一つです。

◆分かる・できる授業づくり

保健体育の授業で「分かる・できる」を実感している割合は、全国平均値を上回っています。これは教職員が授業改善に努める中で、「主体的・対話的」な授業づくりに取り組んでいることが要因の一つです。また、ICT端末を活用し、興味関心をもつて活動できる学習に取り組んできた成果と考えています。(図8、9参照)

※ICT
インターネットやパソコン・スマートフォンなどを活用したコミュニケーションに関わる情報通信技術などの総称

まとめ

生活習慣や運動に関する質問調査の結果を見ると、全国平均値を上回る傾向にありました。

今回の調査結果がおおむね良好だった理由の一つとして、栗山町自体が体を動かす楽しさを作る環境に恵まれていることがあげられます。

今後も本町の児童生徒たちが、運動やスポーツを通じて体力・運動能力を高め、生涯にわたり幸福で豊かな生活を実現するための基礎を培うことができるよう、学校、家庭、地域が一体となった効果的な取り組みの充実を推進してまいります。

たくましく成長する栗っ子たち！ 令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果



文部科学省は、子どもたちの体力・運動能力の向上や、生活習慣の改善を図るため、小学校5年生と中学校2年生を対象に調査を実施しました

栗山町生涯学習情報

マナビイ

栗山町教育委員会
総合福祉センター「しゃるる」
TEL72-1117 FAX72-6522

体力・運動能力調査の結果

◆小学5年生(図1、2参照)

図の体力合計点を見ると、男子は全国平均値の50点という結果となり、女子はやや下回る結果となりました。

各種目の平均にばらつきが見られるので、今後も体力や運動能力の維持向上につながるよう、環境づくりに努めていきます。

◆中学2年生(図3、4参照)

図の体力合計点を見ると、男子は全国平均値を1点下回りましたが、全道平均値と比べると1点高い結果となりました。女子は「反復横とび」と「立ち幅とび」が全国平均値を大きく下回りましたが、体力合計点は全国を上回る結果となりました。

全国平均値と全道平均値を比べると、男女ともに課題がある中、栗山町は比較的良好な結果となりました。

引き続き「豊かな心」や「確かな学力」を育む基盤となる「たくましい体」の育成に取り組んでいきます。

図2 小学5年生女子の結果

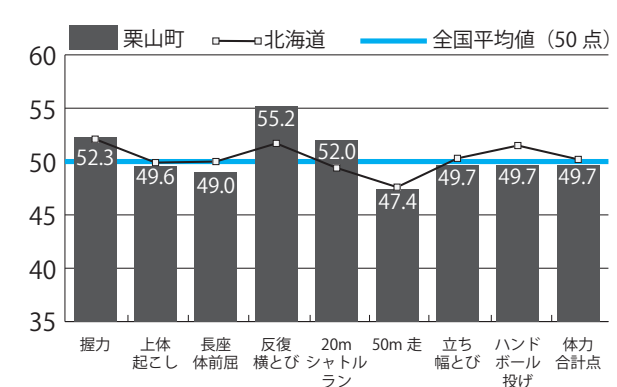


図1 小学5年生男子の結果

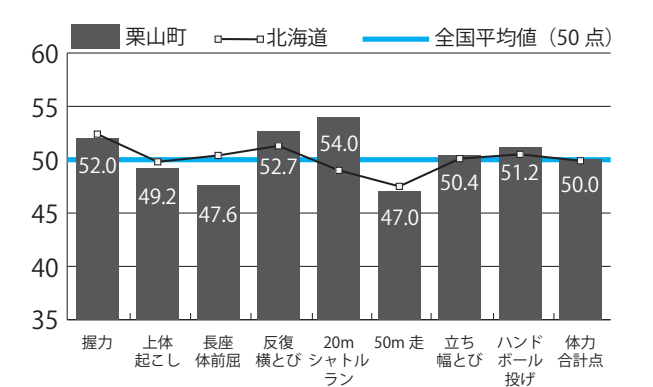


図4 中学2年生女子の結果

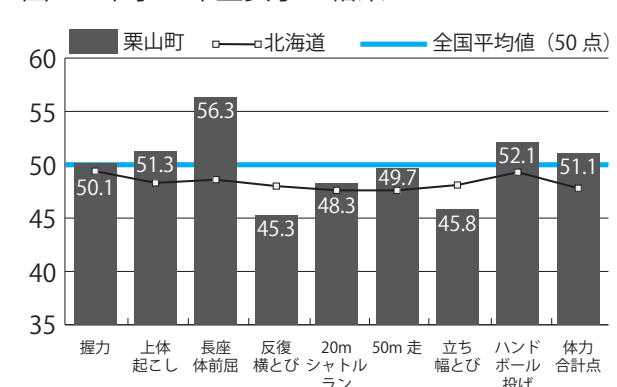
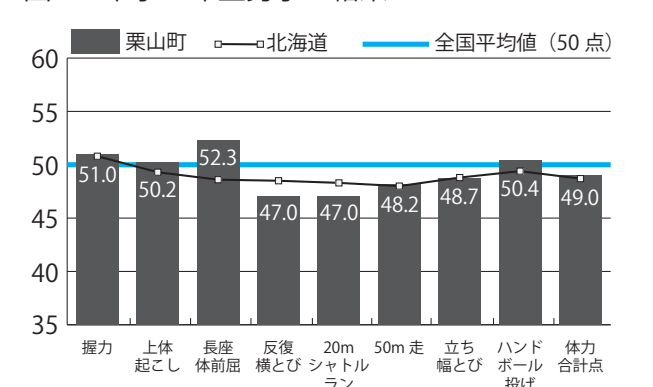


図3 中学2年生男子の結果



スポーツ少年団 新団員募集!!

町では現在、6種目・7団体のスポーツ少年団が活動しており、子どもたちがスポーツを通じて、基礎的な運動能力と健康なからだをつくり、スポーツの楽しさや喜びを体験することを目的としています。各スポーツ少年団では、4月から新入団員を募集しています。

栗山剣道スポーツ少年団

活動場所 スポーツセンター
対象学年 幼児～中学3年生
問い合わせ スポーツセンター ☎ 72-6161

栗山町柔道スポーツ少年団

活動場所 スポーツセンター
対象学年 幼児～中学生
問い合わせ 佐藤裕介 ☎ 090-9526-8295

くりやま FC (サッカー)

活動場所 栗夢広場ほか
対象学年 年中～小学6年生
問い合わせ 丸山友也 ☎ 73-7515(町役場)

栗山野球スポーツ少年団

活動場所 栗山小グラウンドほか
対象学年 小学1年生以上
問い合わせ 錦古里和宣 ☎ 090-7512-4127

継立野球スポーツ少年団

活動場所 継立小グラウンド
対象学年 小学2年生～6年生
問い合わせ 前出純一郎 ☎ 76-3151(継立小)

栗山バレーボール スポーツ少年団

活動場所 スポーツセンターほか
対象学年 小学3年生～6年生(小学2年生は要相談)
問い合わせ 相原深雪 ☎ 090-6219-2626

栗山町ミニバスケットボール スポーツ少年団

活動場所 スポーツセンター
対象学年 小学1年生～6年生
問い合わせ 石田奈菜子 ☎ 090-5226-2890

屋外施設オープン

公園球場、町民球場、運動公園、栗夢広場、農村環境改善センターテニスコートなどの屋外スポーツ施設が4月29日(例)に一斉オープンします。

また、栗山ダムパークゴルフコースは4月21日(金)、ふじスポーツ広場は5月20日(土)にオープンします。
※雪解けの影響で延期する場合があります。

◆日時
4月10日(月)から
午前9時～午後5時
※土日祝日は販売しません。
◆金額
高校生以上 15710円
◆持ち物
身分証明書、顔写真
(縦3cm横2.5cm)
◆販売先・問い合わせ
指定管理者クリーンセンター
株式会社
☎ 3200

栗山ダムパークゴルフ コースシーズン券販売

スポーツ推進委員が行く! inスポーツセンター

スポーツセンター教室のバランスボールピラティスを体験

この他にもカラダを動かす教室を行っています! 興味のある方はぜひお問い合わせください。
【問い合わせ】
スポーツセンター ☎ 72-6161



ウォームアップとクールダウンは念入りに!

準備運動

ケガ防止のため、ラジオ体操や軽運動をします



ストレッチ

タオルや壁を使ったストレッチで身体をほぐします



クールダウン

テニスボールでツボを刺激し、筋肉をほぐします



初心者にも魅力的な 楽しい内容でした!!

今回は第3期スポーツセンター教室のバランスボールピラティスに推進委員3人が受講者と一緒に参加しました。
バランスボールピラティスとはヨガと太極拳の要素を合わせた身体に優しいピラティスです。毎週火曜日に開催されており、バランスボールだけではなく、トレーニングルームでの活動もあります。
まず、準備運動とラジオ体操を行った後、膝裏や股関節を中心としたストレッチを行いました。その後メインのバランスボールを使い、腹筋や背筋、腕の筋肉などそれぞれの筋肉に負荷がかかるエクササイズを行います。バランスを意識することで、インナーマッス

ルに効いている実感が大いにありました。
私は体が硬く、ついていくのが精一杯でストレッチでは既に汗だくになっていました。
バランスボールを使ったトレーニングでは、腕や足がプルプル震え、体幹の弱さを痛感し、翌日にはお約束の全身筋肉痛でした。
講師のアメとムチのバランスが絶妙で途中笑い声も聞こえ、参加者が大変楽しく運動していることが印象的でした。毎週参加すると柔軟性や体幹強化、筋力アップが期待でき、楽しく運動したい方におすすめです。他にもソフトエアロビクスや健やかストレッチなど全5種類の教室もあります。
令和5年度を運動の年にしてみたいかがでしょうか。
(スポーツ推進委員 大塚 崇)



栗山町文化振興基金 補助金事業募集のご案内

町民や企業の方からの寄付金を文化振興を図る事業に充てるために積み立てている基金です。

○地域文化振興事業

地域の文化振興または普及を図る事業（演劇、音楽、文芸、工芸、郷土芸能の鑑賞会、歴史・自然に関する学術研究発表など）

○郷土芸能等保存振興事業

郷土芸能の保存、継承などを行う事業

○芸術創造普及事業

芸術家などが行う芸術の創造普及を図る事業

◆対象者

町内で活動する個人・団体

◆補助金額

対象経費の2分の1以内で、原則20万円を限度とします。

◆申込先・問い合わせ

町教育委員会社会教育課
☎ 1117



▲文化振興基金の補助金を活用して購入したかさおどりの衣装

ハンドメイドイベント 「ハッピーマーケット」

町内外のハンドメイド作家が種店する手作り市を開催します。

◆日時

4月8日(土)
午前10時～午後4時

◆場所

カルチャープラザ「Eki」

◆入場料

無料

◆出品

アクセサリ、エコクラフト、キッズ小物、陶器、レジン、木製椅子、ツールペイント、ハンドケアなど

◆問い合わせ

カルチャープラザ「Eki」
☎ 3333



いきいきスクール 受講生募集



◆期間

5月～11月（年間6回程度）

◆内容

バス研修、学校祭、講演など

◆対象

60歳以上の町民

◆申込方法

各地区の老人クラブに配布した募集用紙からお申し込みください。

※老人クラブがない地域の方および老人クラブに加入されていない方は町教育委員会へお申し込みください。

◆申込期限

4月14日(金)

◆申込先・問い合わせ

町教育委員会社会教育課
☎ 1117

学用品などの費用を 援助します

小中学校に通うお子さんがいる世帯に対し、学費の全額または一部を援助します。

◆対象

生活保護の被保護世帯または経済的に援助が必要な世帯
※世帯の収入状況などの基準があるため、対象とならない場合があります。

◆援助内容

学校給食費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、体育実技用具費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代など
※生活保護の被保護世帯は修学旅行費、医療費のみ対象です。

◆申請方法

学校で配布される申請書に必要事項を記入し提出

※生活保護の被保護世帯の方は、申請は不要です。

◆申込期限

4月21日(金)

◆申込先・問い合わせ

町教育委員会学校教育課
☎ 1117

ふるさと 自然教育通信

VOL.64

自然教育通信

お問い合わせは
オオムラサキ館
まで!!
☎ 72-3000

サケ稚魚の放流会



昨年、サケが雨煙別川で産卵するシーンが見られました。たくさんサケが遡上できるよう放流会を行います。

◆日時

4月8日(土)
午前10時～11時

◆場所

雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス

◆服装

暖かい服装、長靴

◆主催

夕張川自然再生協議会

両生類の卵塊調査

ハサンベツ里山は重要な個体群が住む貴重な産卵場所です。春のハサンベツ里山に生息するカエルやサンショウウオを観察してみませんか。

◆日時

4月15日(土)
午前9時～正午

◆場所

ハサンベツ里山

◆持ち物・服装

暖かい服装、長靴、軍手



オオムラサキ館 観察飼育舎オープン!!

オオムラサキ館の観察飼育舎（網舎）がオープンします。観察飼育舎では「キアゲハ」をはじめ、「春の女神」と呼ばれ早春に羽化する「ヒメギフチョウ」などの蝶を観察することができます。

◆日時

4月29日(祝)～10月31日(火)
午前10時～午後5時

◆休館日

毎週火曜日、祝日の翌日
年末年始

◆入館料

無料



▲観察飼育舎の様子



▲早春に羽化したヒメギフチョウ

図書館へ行くこう！

栗山ふるさと文庫20号
無料配布中！



栗山にゆかりの深い5人を語り部に、昭和期に町内で発行されたチラシをもとに行った座談会の内容を編集委員が書き起こし、ふるさと文庫20号として1冊にまとめました。お求めの方は左記受付場所までお越しください。

◆受付場所

町図書館、角田・継立図書館、移動図書館くりくり号

◆部数

100冊限定（先着順）

◆問い合わせ

町図書館
☎ 6055

戸籍のまど

Kuriyama town
2月16日～3月15日届出

おめでた (敬称略)

住所	氏名	月日	保護者名
錦 3	小國 恵真 ^{えま}	2/18	優樹・妙黛
湯 地	角井 乃悟 ^{だいた}	2/20	勇樹・麻旗
朝日 4	高橋 百慧 ^{ももえ}	3/4	重法・李奈

おくやみ (敬称略)

住所	氏名	年齢	月日	世帯主
中央 4	田淵 芳之	90	2/15	本人
中央 2	廣瀬 勝利	80	2/16	本人
継 立	平井チエ子	82	2/24	本人
中 里	小原 圭子	90	2/24	春男
杵 臼	南部 トシ	93	2/26	政幸
中央 4	松村 順	98	3/1	本人
松風 3	佐立美津江	81	3/2	利雄
富 士	青塚 壯次	78	3/2	本人
継 立	安島 健市	81	3/2	本人
松風 2	青木美知子	90	3/3	本人
三日月	長坂トキ子	93	3/4	本人
松風 2	片山ききよ	102	3/7	本人
桜丘 1	福田ヒサエ	97	3/8	本人
旭 台	吉田トシ子	94	3/8	本人

人のうごき

※2月28日現在、()内は前月比です。

人 口	11,060人	(-22)
男	5,157人	(-10)
女	5,903人	(-12)
世帯数	5,760世帯	(-9)

ご厚意

社会福祉協議会へ	
物 品	伊藤 恵さん (中央 2)

くりのさとへ	
金一封	北野志津江さん (朝日 4) 林 公夫さん (中里)

泉徳苑・一草庵へ	
物 品	カインドネスシオミ薬品 (松風 3)

【お詫び】3月号の内容(12頁・まちのニュース)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(誤) 岩崎宏昌 (正) 岩崎弘昌

4月1日から/

医療費助成制度が変わります

町では北海道基準に上乘せし、18歳の年度末までのお子さんの医療費を助成しています。
今まで助成対象外または一部助成としていました町外への通院についても全額助成をします。

◆対象医療費
・子ども医療費
・重度心身障害者医療費
・ひとり親家庭等医療費

【問い合わせ】
町住民保健課
国保グループ
☎ 73-7508

令和5年度

前期技能検定試験

募集

【受付期間】4月3日(月)～14日(金)
【実施職種】造園、とび、建設塗装 など

※詳しくはホームページをご覧ください

【問い合わせ】
スキルアップセンター空知
☎ 0125-24-1880



こちら町長室



Vol.58

【行事】



南角田地区道営農地整備事業竣工式に出席



泉幸子さん、小菅サトさん百歳祝いを贈呈



第75回栗山高校卒業式に出席



老人クラブ連合会功労者表彰式に出席



栗山英樹監督応援 WBC 鑑賞会に出席



第34回 社会福祉センター空知



土地改良総合推進本部会議に出席



栗山町青年農業者表彰式に出席

元気が満ち溢れる栗山新時代を！

町民の皆さん、こんにちは。
春の暖かさに心 and 季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

町民・議会・行政が一体となり創り上げた、まちの最上位計画「第7次総合計画」の初年度となる令和5年度がスタートしました。町政執行方針において、町民の皆さんとともに考え、創る「元気が満ち溢れる栗山新時代」を実現していくことを表明しました。

今年度に取り組む重点施策のうち2事業について、町の組織に専任グループを新設し、事業を進めてまいります。

一つは、「地域社会のデジタル化」の推進です。コロナ禍に端を発し、社会変革の波が押し寄せる中、町民生活の利便性向上と個性豊かな地域づくりを進めるため、地域社会のデジタル化を推進するものです。総務課に「DX・行革推進グループ」を新設し、地域活性化起業人制度を活用しながら、栗山町DX推進計画策定やマイナンバーカードの普及促進などに取り組みます。

もう一つは「カーボンニュートラル」の実現です。近年、温室効果ガス排出量の増加により、世界各地で異常気象による災害が発生していることを踏まえ、本町としても豊かな自然環境を未来へと引き継ぐため、栗山町ゼロカーボンシティ宣言を表明しました。環境政策課に「ゼロカーボン推進グループ」を新設し、栗山町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づく、再生可能エネルギー導入支援制度の拡充や町民への普及啓発などに取り組みます。

これまで3年間にわたる新型コロナとの闘いもようやく収束へと向かいつつある中、まちに芽吹き始めた様々な動きを大切に育てながら、総合計画に

【来客】



株式会社柴田商事の柴田 城宏社長



株式会社おばねやの野澤勇二郎社長・荒川豊統括工場長

総合警備保障株式会社の重松高浩支社長

株式会社エクセルジャンの池田州亮社長

掲げる151の計画事業を一つ一つ丁寧に、また着実に推進してまいります。

厳しかった冬も終わり、穏やかな春の陽射しに包まれる中、次代のくりやまを担う若者たちが、輝く未来に向かって羽ばたかれました。

3月1日、第75回栗山高校卒業式に出席しました。47名の卒業生はコロナ禍で様々な制約を強いられた3年間を乗り越え大きく成長し、卒業されました。卒業生の進路状況は、進学が30名、就職が17名、それぞれ新たなステージへと歩みを進められました。

3月11日には、第34回北海道介護福祉学校卒業式に出席しました。25名の卒業生は、2年間で2,128時間に及ぶカリキュラムを修められ、専門士の称号を得て卒業されました。卒業生のうち1名が、本町の特別養護老人ホームくりのさとに就職、2名が北海道医療大学に進学しました。

栗山高校、介護福祉学校の卒業生皆さんの、輝かしい未来と益々のご活躍を、まち挙げて応援しています。

4月1日から、新人職員11名が役場に入りました。町民の皆さん、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

これからの一年間、職員一丸となって、町政を推進してまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

栗山町長 佐々木 学

【今月の主な動向】※変更の場合もあります。

4月 1日(土)	栗山煉瓦創庫くりふとオープニングセレモニー
4月 3日(月)	職員辞令交付・新年度町長挨拶
4月 6日(木)	南空知南部介護認定審査会総会
4月 7日(金)	北海道介護福祉学校入学式
4月 8日(土)	サケ稚魚放流会 ふるさと田舎まつり
4月 10日(月)	人権擁護委員委嘱状交付式 栗山高校入学式
4月 11日(火)	高額寄附者感謝状贈呈
4月 14日(金)	栗山町農業再生協議会総会 空知管内消費者協会連絡協議会
4月 17日(月)	身体障害者福祉協会総会
4月 18日(火)	栗山赤十字奉仕団創立30周年記念祝賀会
4月 24日(月)	町議会議員選挙当選証書交付式
4月 27日(木)	年金者連盟栗山支部総会
4月 28日(金)	栗山消費者協会総会

編集担当者のひとこと

▼WBCで日本を優勝に導いた栗山英樹監督の活躍に湧いた3月でした。連日盛り上がり魅せた町の様子は次号の掲載ですが、優勝を決めた喜びの写真を一足先にお届けします。栗さん、感動をありがとうございました。(伊藤)

▼広報担当になって9カ月、たくさんの人と出会いました。快く取材を受けてくれる町民の皆さんの優しさ・温かさをとても感じています。今年度も取材を通して皆さんの活躍や人柄の良さを伝えたいと思っています。(松井)

▼心地よい陽光に包まれ、穏やかに過ごせる季節になりましたね。この時期の散歩は季節の変わり目を感じることができて好きです。澄んだ青空を仰ぐことに夢中のみならず、雪解け水で靴が汚れてしまうこともしばしば。靴を磨くと、つい入庁初日の朝を思い出してしまいます。「もう1年経ったのか」と思い出に浸りながら2年目も新たな気持ちで邁進していきたいと思います。(及川)



校長から卒業証書を受け取る（栗山小）



別れの時を迎え卒業生 12 人が整列（角田小）



感極まって涙を流す卒業生（継立小）



校長から激励の言葉が贈られる（栗山高）

ずっと 忘れない

Graduation ceremony

町内の各学校で卒業式が行われ、
たくさん思い出が詰まった学び
舎から巣立ちました。



卒業生代表の挨拶（介護福祉学校）



卒業式後のクラス活動の様子（栗山小）



別れを惜しみ担任と熱く抱き合う（介護福祉学校）



親友と記念撮影（栗山中）



友と語り合った思い出の廊下で記念撮影（栗山高）



成長したたくましい顔つきで卒業を喜ぶ（角田小）



玄関前で最後のクラス集合写真（継立小）

〔発行〕栗山町 〔編集〕総務課／教育委員会
〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風 3 丁目 252 番地
☎ 0123-72-1111 FAX 0123-72-3179

〔印刷〕山東印刷株式会社
〔ホームページ〕<https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>
〔メール〕kouhoubousaijouhou-g@town.kuriyama.hokkaido.jp



■「広報くりやま 6 月号」の原稿締切は 4 月 28 日（金）まで
■提出先：町総務課広報・防災・情報グループ ☎ 73-7501（直通）